

第六十四回
帝國議會
貴族院

恩給法中改正法律案特別委員會議事速記録第五號

昭和八年三月十七日(金曜日)午後一時十八分開會

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ是カラ開會イタシマス、一ツ御諮リ致シタイト

存ジマス、今日井上清純君ガ御出デニナリマセヌ、私チヨット是カラ出ナケレバナラス所ガ一ツゴザイマスカラシテ、其間ダケ副委員長ノ代リニ塚本君ニ願ヒタイと思ヒマスガ、御差支アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ其節ハドウカ願ヒマス

○政府委員(樺貝詮三君) 昨日淺田男爵カ

ラ御尋ガアリマシタ事柄ニ付キマシテ御答辯申上ゲマス、第一ノ點ハ下士官以下ノ軍人ニ付テ今度普通恩給最低年限ノ延長ヲ一年ニシ、又巡查等警察、監獄職員ノ爲ニ二年ヲ延長シタト云フコトニ付キマシテ、差上ゲマシタ恩給法整理要綱ニ、下士以下ノ軍人ハ延長後ノ年數ヲ警察監獄職員ノ年數ト同一ナラシムル爲一年ノ延長ニ止ムト云フ言葉ガアリマシタノデ、警察官ト下士官以下ノ軍人ト、出來タ結果ヲ同一ナラシムト云フ文句ガアルカラ、ソレデドウモ軍人

ノ特殊性ヲ無視シタモノデアルト云フヤウナ御尋デアッタと思ヒマスガ、之ニ付テ政府ハ之ヲ改ムル意思ガアルカト云フ御尋デアッタと思ヒマスガ、其改メルト申シマスノハ恐ラク下士以下ノ軍人ノ在職年數ヲ更ニ一年延バシテ、巡查看守ト同ジニシテ十三年ニスベシ、斯ウ云フ意味デハナイト存ジ上ゲル次第デアリマスガ、同等ニスルト云フコトハ結局二年延バスト云フコトニナリマスガ、サウ云フコトデナシニ寧ロ此文句ガイケナイト云フ、斯ウ云フコトカト思ヒマスガ、是ハ申上ゲル迄モナク要旨ノ説明デアリマスガ、從テ法文デモゴザイマセヌガ、是ハ警察職員ナドノ方ニモ随分サウ云フ聲ガアリマシタノデスガ、自分等ガ二年延バサレルト云フコトハソレハ不服ハナイ、併ナガラ軍人ノ方モ同ジヤウニ二年延バサレベキデハナイカ、自分等ダケガ二年延バサレテ、軍人ノ方ガ一年ト云フ答ガナイデハナイカ、是ハ新聞デ一般軍人ガ、即チ職業的ノ上級ノ軍人モ亦一年ト云フヤウニ新聞ガ書立ッタコトガアリマシテ、其爲ニ來タ誤解カモ知レマセヌガ、兎ニ角自分等ダケガ二年延バサレテ、軍人ダケガ一年デ止

マルト云フ理由ガ全然アルマイト云フヤウナコトガ随分言テ參ラレマスト、サウデハナイ、下士以下ノ人ノ勤務ノ平常ニ於ケル狀態ト、巡查ナドノ勤務ノ狀態トヲ考ヘレバ、同ジク體ヲ主ニ使フト云フ點ヤ、勤務ノ困難ノ點ヤ、ソレ等ノ程度ヲ考ヘマシテ、勿論性質ヤ目的ハ違テ居リマシテモ、其程度ヲ考ヘルト大體同ジヤウニナルノデアルカラ、ソレデ現在ニ於テ巡查看守方面ガ十年デ恩給ニナリ、又下士官以下ノ軍人……下士、兵ノ軍人ガ十一年デナケレバ恩給ニナラナイト云フコトソレ自身ガ解シ兼ネルコトデアル、是ハ十二年ニ現行恩給法ヲ制定イタシマスル時分ニアリマシタ巡查看守退隱料遺族扶助料法ト云フ法律ニ於テ、巡查看守ノ爲ニ十年ヲ以テ恩給ニナルト云フコトガ規定セラレ、ソレカラ明治二十三年ニ制定セラレマシタ軍人恩給法ニ依テ、軍人ハ一樣ニ十一年以上デナケレバ恩給ニナラナイト云フ規定ガアリマシテ、十二年ノ恩給法ニ統一セラレマスル時ニ其儘ノ規定ダッタ、サウ云フ沿革情性ニ依リマシテ、斯ウ云フ結果ニナッタノデアルカラ、ソレ等ノ程度ヲ考合セテ公平ニ考ヘテ見レバ、

少クトモ巡查看守ノ在職年數ナリ、恩給年限ノ方ガ短カルベキ理由ハナカラウト云フコトカラ、ソコデ少クトモ十二年ノ同ジ程度ニスベキデアルト云フ考ヘ方カラ致シマシテ、此一年ノ延長ニ止メタ譯デアル、若シ同ジヤウニ延バスト云フナラバ、巡查看守モ二年延バスタラバ、矢張り軍人ノ方モ二年、假リニ淺田男爵ノ仰シヤイマシタヤウニ此率ヲ有チマスト致シマシテモ、多少ノ何ハアリマスルケレドモ、ソレニシテモ二年近イモノヲ延長シナケレバ、其點カラ言ヘバ公平ハ保テヌトケレバ、其點アラ言ヘバ公平ハ保テヌトケレバ、言ヘル譯デアリマスケレドモ、斯ウ云フヤウナ事情ガアリマス爲ニ、私等ノ信念ト致シマシテハ、之ヲ十三年ニ延バスト云フ理由ハナイト云フ風ニ考ヘマシタ爲ニ、文字ノ關係ハアリマセウケレドモ、從テ之ヲ軍人ノ方ハ巡查、看守ト同ジヤウニ、下士以下ノモノヲ十三年ニスル、二年延バシテ十三年ニスルト云フ意思ハ無論アリマセヌ、ソレカラ第二ニ文武官ノ間ニ於キマシテハ、軍人ハ現在デハ十一年デ恩給ニナル、官吏ハ十五年デ恩給ニナル、ソレヲ一樣ニ二年延バシタデハ、率カラ言ヘバ軍人ノ方ガ

増加率ハ多イデヤナイカ、延長率ガ多イデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ仰セラレマシタガ、固ヨリ准士官以上ニ付キマシテ、比率カラ言ヘバ誠ニ御説ノ通りデアリマスケレドモ、併シ同ジコトヲ申上ダレバ、下士官及兵ニ於キマシテハ、比率カラ言ヘバ文官方面ヨリカモ延長率ガ少イ譯デアリマス、非常ニ少イ譯デアリマス、デ此間非常ニ細カイ計算ニナリマスケレドモ、之ヲ比率デ行クベキカドウカト云フコトヲモ考ヘル餘地ハアリマスケレドモ、併シ此一年ノ、例ヘバ十一箇月幾ラト云フヤウナ計算ニ参リマスルコトガ果シテ妥當デアルカ、假ニ今日ニ於キマシテモ、在職年數ガ月計算ニ依ルト云フヤウナ譯デ、何日ト云フ風ニ刻ムベキヤウナ程ノ事柄デアルカドウカト云フコトヲ考ヘマシタガ、ソレ程ノ必要モナカラウシ、又此一年ニナリマシテ、始メテ恩給ノ額ニ於ケル率ノ相違ガ出デ参リマスト云フヤウナ譯デ、ソレハサウ小刻ミニ非常ニ小刻ミニスル必要モナカラウト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、デ結局准士官以上ニ付テハ他ノモノト、全部ノ公務員ト同ジヤウニ二年ノ延長ヲナシ、下士官以上ニ付キマシテハ、今申シマシタヤウニ、比率ニ於キマシテハズト低イ一年ト云フ延長	率ニシタイト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、是等ノ點ニ付キマシテ、軍人ノ特異性ガ現レテ居ナイト云フ御言葉モアリマシタノデアリマスケレドモ、軍人ノ特異性ト申シマシテモ、軍人ナルガ故ニ實質的ニ特異ナ色ミナ關係ヲ有テ居ルモノニ對シテ、サウ云フコトニ對スル相當ナ、ソレニ相對スルヤウナ色ミナ利益ナリ、或ハソレニ適合スルヤウナ給與ナリト云フコトヲ致シマスルコトハ、餘程心掛ナケレバナラヌコトデアルシ、又今度ノ法案ニ付キマシテモ、或ハ現行法ニ於キマシテモ、ソレ等ノ點ハ確ニ考ヘテ居ルト存ジテ居リマスルガ、同ジ事情ガ、全ク同ジト考ヘラレル事情ガ兩方共ニアル場合ニ、軍人ノ方ダケヲ不公平ニ、餘分ニ利益ニシナケレバナラヌト云フコトガ、軍人ノ特異性デアルトハ私ハ考ヘテ居リマセヌ、ソレデソレハ軍人ノ方ガ實質ニ於テ色ミナ點デ特異性ヲ有テ居ルカラ、其特異性ニ伴フヤウナコトノ利益ヲ認メテ行カナケレバナラヌト云フコトヲ、綜合的ニ考ヘラレルノデアッテ、個々ノ事柄ニ付テ同ジヤウナ狀態ニアルモノニ付テハ、同ジヤウニ行クト云フコトガ、ソレガ公平デアリ、ソレヲ不公平ニスルト云フコトハ、決シテ御質問ノ御趣旨デモナイト	思ヒマス、又私共モ考ヘテ居リマセヌノデ、全體ヲ通覽シテ戴キタイト、此點ニ付テハ存ジテ居ル次第デアリマス、ソレカラ第三ノ點ニ付キマシテハ審議會ノ答申中ニ、現在ノ恩給法ノ定ムル傷病程度ノ第一款又ハ第二款ニ該當スルヤウナモノハ、是ハ増加恩給トシテ給與ヲ爲スベキデアラウト云フ答申ガアリマシタ位デアリマスガ、此點ニ付キマシテモ、固ヨリ之ヲ非常ニ重要視シテ參考ニ致シマシタコトハ事實デアリマス、是ニハ財政上ノ關係モ矢張りアリマスルシ、之ヲモウ一ツニハ第一款、第二款ヲ増加恩給ニスルトスレバ、ドウ云フ風ニ金額ヲ盛ルベキカ、ソレカラ其受給者ニ對シテノ普通恩給額ヲドウ云フ風ニスベキカ、サウシテソレガ扶助料ニ殘ル場合ニドウ考フベキカト云フコトニ付キマシテハ、技術的ニモ可ナリ困難ノコトデアリマス、技術的ニ困難ト申シマスノハ出來ヌコトハナイノデゴザイマスガ、其結果ハ可ナリ不公平ナコトガ生ズルト云フヤウニモ考ヘラレマス、且ツ又此傷病ノ程度ガ第一款症ニナルカ、或ハ増加恩給ノ項症ニナルカ、又同ジ款ノ方ニ於キマシテモ第一款ニナルカ、第二款ニナルカト云フヤウナコトハ、實ハ法律ノ改正ヲ俟タズシテ是ノ整理	ハ出來ル譯デアリマス、ドウ云フ傷病ヲ増加恩給ニ該當スル、今日恩給法ガ項ト申シテ居リマスガ、其項ニ該當スル所ノ傷病ト看做スベキカ、又如何ナル傷病ヲ恩給法ノ所謂款、此度ノ傷病年金ニ該當スルモノデアルガ、其款ト見做スベキカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ先日來眼ガ二ツ見エナクナツタ場合ト、一ツ見エナクナツタヤウナ場合トデ、金額ガ一ツノ眼ガ見エナクナツタ場合ニ對シテ兩眼ガ見エナクナツタ場合ハ二倍ニナツテ居ルノハ不當デハナイカト云フ御話ノ御質問モゴザイマシタ、是モ十二年ニ二ツノ眼ガ見エナクナツタ方ノ金額ヲ非常ニ増シタ結果、尙ホ今日モサウ云フヤウナ狀態デアリマスガ、ソレヲ何項症ニ見ルカ、何款症ニ見ルカト云フコトハ、別ニ勅令ノ根據ガアリマシテ、是ハ明治ノ初年カラ順次累積シテ認定ノ結果カラ歸納セラレタ標準ガアリマシテ、定テ居ルノデアリマスガ、其累積セラレタ實例カラ生ジタ最後ノ標準ヲ動カシマスコトニ依ッテ、是ハ色ミトモナリマスノデ、其點ノ整理ハシタイト云フコトハ、十二年ノ時ニモ既ニ試ミマシタ、實ハ……、今日マデモ尙ホ其例ヲ集メ、米國ニ於ケル所ノ例ナドモ斟酌イタシマシテ、何トカ是ハ改正シタイト云フコ
--	--	--	---

トヲ始終考ヘテ、實ハ調査モ進メテ居ル譯
デアリマスガ、ソレガ出來上リマスレバ餘
程此點モ整理ガ出來ルコトニナリマスカ
ラ、額ヤナドノ點ニ於キマシテ審議會ガ答
申シタノト、實際ノ結果ニ於テハ少クトモ
其割合ニ付キマシテハ、本人ノ受ケマス恩
給ニ付テハ、非常ナ隔リハナイヤウニ、少
クモ不公平ニハナラヌヤウニ、ソレガ考ヘ
ラレル餘地モ幾ラカアリマスノデ、色ミカ
ラ考ヘマシテ此原案ノ程度ガ相當デアラウ
ト云フ風ニ考ヘタ次第デアリマス、從テ之
ヲ只今増加恩給ニ上ノ方ヲスルト云フ意思
モゴザイマセヌ、ソレカラ第四ノ御尋ハ特
殊遺族ノ扶助料ヲモット増ス意思ハナイカ
ト云フ御尋デアリマシタ、是ハ先日來申上
ガマシタヤウニ財政上ノ餘裕ヲ發見イタシ
マスナラバ、サウシテソレガ十分ニ今日ノ
財政狀態カラ考ヘテ妥當ト云フコトガ言ヒ
得ルトスルナラバ増シタイ、更ニ幾ラカノ
程度ニ於テモ増シタイト云フ希望ハナイデ
ハアリマセヌケレドモ、併ナガラ之ニ付キ
マシテハ先日來申上ガマシタヤウニ、一方
ドウシテモ此恩給制度ニ於キマシテ年々ニ
著シク恩給ガ増加スルト云フコトハ、國運
ノ進展ニ伴フテ或ル程度ニ於キマシテハ已
ムヲ得ナイコトデアリマスケレドモ、其

進展率ヲ更ニ超ヘテ急角度ニ増加シテ居ル
今日ノ狀態トシテ考ヘテ見マスレバ、其後
ニ重キ負擔ヲ負ハシテ行クト云フコトハ、
恩給制度全體ノ上ニ於キマシテモ其基礎ヲ
危クシテ行ク所以デアルシ、又國家ノ此非
常時ニ際シテ負擔ヲサウ多クモ出來マセヌ
ノデ、大體ハ今回ノ案ニ於キマシテハ、恩
給漸増防止ト云フコトヲ主ニ目標ニシテ居
リマスルニモ拘ラズ此部分ニ付テ増額ヲシ
テ居リマスヤウナ譯デ、サウ云フ事情ガア
リマスカラ、此程度デ今日ハ忍ビ戴クヨリ
仕方ガナイト云フ積リデ居リマス、此點ハ
衆議院ニ於キマシテモ更ニ機會ガアルナラ
バ、將來ニ於テ是ハ考慮スルヤウニト云フ
希望モアリマシタガ、政府トシマシテモ
サウ云フヤウナ十分ナ餘地ガ發見イタサレ
マスル時ニハ、無論此點ハ考慮シタイトハ
考ヘテ居リマスガ、差當リト致シマシテハ
此程度ヲ以テ進ムヨリ仕方ガナイト云フ風
ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ第五ノ點ハ受
給者ノ年齡ニ依ル停止ニ關スル問題デアリ
マスガ、其大部分ハ下級ノ軍人デアアル、ダ
カラ之ヲモット緩和スル意思ハナイカト云
フオ話デアリマスガ、實ハ初メニハ外ノ公
務員ナドニ付キマシテモ、又軍人ニ於キマ
シテモ、是ハマア政府内部ノ關係デアリマ

シタガ、モウ少シ強イ程度デモ一般ニモ停
止ヲシナケレバイケナイカト云フコトヲ考
ヘテモ居リマシタヤウナ譯デ、ソレガ段々
進行シテ行キマシテ軍人殊ニ下級軍人ノ爲
メニ認メラレタ所ノ此最低限ニ迄、實ハ引
下ゲマシタヤウナ譯デ、是カラモット變ル
ト云フ餘地ハナイヤウナ分量デアルト實ハ
考ヘテ居リマスル、之ニ付キマシテモモット
強イ程度デ停止スベキデハナイカト云フ意
見モ屢、聞キマスガ、サウ云フ事情デ強ク
停止スベキモノトモ考ヘテ居リマセヌ、此
程度ガ最モ宜カラウト云フ風ニ考ヘテ居リ
マス、ソレカラ第六ニハ恩給融通ニ付テ今
度ノ改正案デ何トカソレヲ書ク意思ハナイ
カ、之ヲ同時ニシタラドウカ、斯ウ云フ御
尋デアリマシタガ、是モ若シ出來マスルナ
ラバ、御尋ノ御意見ノヤウニ此恩給法ト一
緒ニサウ云フコトヲ致シタイト思フタノデ
アリマシタガ、何分ニモ恩給融通ニ付キマ
シテハ、恩給ノ給與ヲ受クルノ權利ハ公權
デモアリマスシ、一般私法上ノ權利ヲ擔保
ニ入レルヤウナ問題トモ違ヒマスカラ、諸
般ノ影響スル所ヲ考ヘナケレバナリマセヌ
シ、ソレカラ金融ノコトデゴザイマスカラ、
此資金ト云フモノヲ考ヘナケレバナラヌ、
今日ノ國家財政ノ狀態デドコニ資金ガアル

カト云フコトモ、亦融通シ得ル資金ガドウ
アルカト云フヤウナコトモ考ヘナケレバナ
ラヌヤウナ譯デアリマシテ、而シテ更ニ又
之ヲ實行スルトスレバ、ドウ云フ機關ニ付
テ、ドウ云フ方法デ、ドウ云フ金額デ之ヲ
實行シテ行クベキカト云フヤウナコトモ考
ヘナケレバナリマセヌ爲ニ、遺憾ナガラ今
回迄ニハ提案スルコトガ出來マセンカッタ
ヤウナ次第デアリマスルガ、是ハ引續イテ
具體的ニ研究ノ歩ヲ進メテ行キタイト思
テ居リマス、ソレカラ第七ハ個人納金ニ付
テハ、最早最高俸給ヲ貰フテ居ルヤウナモ
ノハ納金スル機會ガナクナルノデハナイカ、
從テ是ハ不當デハナイカト云フ御尋ネデ
アリマス、是モ一面カラ考ヘマスト、或ハ
サウ云フ風ニ考ヘラレル餘地モアルカモ知
レマセヌガ、併シ此納金ノ時期ヲ各個人ノ
昇給ニ付テノ……昇給ノ時ニ取リマシタ、
現ニ其モノガ受ケテ居リマスル所ノ俸給、
即チソレヲ考ヘテ生活ヲシテ居リマスル俸
給ノ中カラ引イテ宜イト云フヤウナコトナ
シニ、ソレガ將來殖エル時ニ殖エ方ヲ幾ラ
カ少クスルト云フヤウニ致スコトガ、納金
スルモノニ付テハ一番苦痛ノナイ時期ナノ
デアリマス、今回ノ改正案ガ諸種ノ不備ト
カ、不備ト云ハナイデモ餘裕ノアル點ヲ拾

テ行キタイ、例ヘバ多額所得者ニ對スル恩給停止ナドソレデスケレドモ、其給與スルコトガ不當デアルトカ、或ハサウ云フ規定ガ不備トカ云フノデハアリマセヌガ、幾ラカハ餘裕ガアルデアラウ、餘裕ノアル所ヲ拾フトカ、或ハ不備ト考ヘラレルヤウナ部分ハソレヲ補ヒ、而シテ又相當デナイ惡イト思フハレルヤウナコトハ之ヲ改正シテ行ク、サウ云フ諸種ノ謂ハバ雜多ナ色ミナ點ヲ照合イタシマシテ、ソレデ財政上ノ一方ニ於テハ幾ラカノ改正目的ニ伴フ程度ノ餘裕ヲ作り、之ヲ以テ實ニ國家ガ恩給増加ノ爲ニ苦シイ苦シイト云フ聲ナシニ、謂ハバ恩給ノ自給自足ト申シマスカ、ト云フヤウナコトヲ、恩給制度ヲ確定シテ行キタイ、公務員ヤ又軍人官吏ナドハ決シテ不當ナコトヲヤテ恩給ヲ取ルモノデナイ、性質ガ違フテ居ル、斯ウ云フコトヲ事實ノ上ニ制度ノ上ニ表明シテ見タイト云フ考ヘデアリマス爲ニ、諸種ノ點ニ於テ成ルベク公務員或ハ受給者ニ苦痛ノ少イヤウニシテ、サウ云フ所ヲ寄セ集メテ、サウシテ涙ヲ以テ報イナケレバナラヌ所ノ、公務ノ爲ニ斃レタ者ノ遺族トカ、或ハ公務傷病ニ依テ片輪ニナタト云フヤウナモノ、又其外ニ於キマシテモ、ソレニ類シタ幾多ノ人達モアリマスカラ、サウ云フ	モノヲ扶助シテ行キタイ、斯ウ云フ精神デアリマスノデ、從テ最上級ノモノニ付キマシテ個人納金ヲ取ル機會ガナクナルデヤナイカト云フコトニ付キマシテハ、ソレダケノ部分ダケヲ小サク見マスト、正ニサウ云フコトニナリマスケレドモ、今ノ大キナ見方ヲ致シマスケレバ、是ハ決シテ不公平デハナイト云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、此點ニ付テ特例ヲ設ケル必要モナカラウカト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ第八ニハ准士官デ二年以上居ラナケレバ高等官八等、即チ少尉ノ恩給ガ貰ヘナイデヤナйкаト云フコト、現行法ニハ其制限ガナイカラ一級俸サヘ貰ヘバソレデ宜シイ、ニモ拘ラズ今日ノ改正案ニ付テハサウ云フヤウナコトニナルノデハナイカ、ダカラ是ハ軍人ノ特殊性ヲ無視シタモノデアル、却テ不利益ニシタモノデアルト云フ御尋ネデアリマスガ、是モ先程申上ゲタヤウニ實ハ公平ナンデアリマシテ、外ノ總テノ公務員ニ付キマシテモ、亦同ジ軍人ノ中ニ於キマシテモ、准士官ヲ除キマシテハ、何レモ其官デ辭メタ其位置ニ基イテ恩給ヲ受ケルノデアリマス、准士官ノ最高ノ俸給ヲ貰フテ居ルモノダケニ付キマシテハ、是ハ一階級上ノ少尉ノ額ヲ貰フ、此規定ノ出來マスマデハ	淺出閣下モ御承知ノコトト存ジ上ゲテ居リマスガ、是ハ假定ノ俸給ヨリカモ實俸給ノ方ガ上ニ實ハナル、餘程上ニナルト云フコトガ考ヘラレル爲ニ、特ニ之ガ出來テ來テ規定ナンデアリマシテ、從テ是ハ實際俸給ト云フコトヲ睨ンデ出來マタ特別ナル規定デアリマス、ソコデ今同最高俸給ニ付テハ御承知ノ通り據置二年以上上經ナケレバ二年以上居ラナケレバ一級進ミト云フコトヲ考ヘラレナイ、總テノモノニサウナッテ居リマス、現ニ此准士官ニ於キマシテハ准士官デ辭メレバ……准士官ガ少尉ニナッテ辭メレバ無論ソレデ行ケマスガ、外ノ公務員トハ違ヒマシテ、准士官デ辭メタノデモ少尉ノ額ヲ貰ヘルノデアリマス、サウ云フヤウナ只今申シマシタヤウナ理由デ、准士官ノ高等官八等ノ額ヲ受ケルト云フ俸給ト云フコトガ基礎ニナッテ出來タ此規定デアリマスカラ、自然其限度ニ於キマシテ、外ノ總テノ即チ准士官以外ノ軍人及其他ノ公務員ニ付テ適用セラルベキ其原則ダケ、ソレノ制限ヲ受ケルト云フコトハ當然ノ話デアルト實ハ考ヘテ居リマス、其限度ニ於キマシテハ、ソレヲ若シサウシナケレバ他ノ下士ヤ將校ヤソレカラ又一般文官其他ノ公務員ニ對シテモ却テ不公平ナ結果ニナル、其	適用限度ニ於キマスル自然ノ結果ガ出來マスコトハ、是ハ決シテ軍人ノ特殊性ヲ無視シタ譯デモナンデモナイ、唯准士官ダケノ問題デアリマス、外ノ軍人ニ對シマスル關係ニ於テモ之ヲ特ニ又今ノ原則ノ影響ヲ受ケナイヤウニスルコトハ却ッテ不公平ニナルト云フ考ヲ有テ居リマス、決シテ軍人ノ特殊性ヲ無視シタ譯ノモノデモナイト存ジテ居リマス、御諒承ヲ願ヒタイ、第九ニハ關東州ニ駐在スル所ノ軍隊ニ付テ何故ニ外國鎮戍トシテノ加算ヲシナイカト云フ非常ニ専門的ノ事柄ニ互リマスガ是ハ恩給法ニ於キマシテハ、關東州モソレカラ南洋ヲモ是ハ外國トハ見テ居リマセヌノデアリマス、取扱フテハ居リマセヌ、關東州ガ日本ノ領土デアアルカナイカト云フコトハ國際法學者ニ於テモ違フ見解ヲ有テ居ル所デ、或人ハ領土ナリト云フ風ニ考ヘテ居ル、サウ云フコトヲ主張サレテ居ル方モアル、又サウデナイ、日本ノ領土デハナイト云フ風ニ主張サレテ居ル人モアルヤウデアリマスガ、南洋群島ニ於テモ現ニ問題トナッテ居リマス通り委任統治ハ、事實アレハ日本ノ領土デアアルカドウカ云フヤウナコトニ付テモ見解ハ今日色ミアルト云フコトハ申上ゲル迄モナイコトデアリマスガ、サウ云フ
---	---	---	--

風ナ譯デ恩給法ニ於キマシテハ關東州モ外國ト云フ風ニ考ヘテハ居リマセヌ、外國並ミニ取扱テハ居リマセヌ、從テ其處ニ居ル軍隊ハ外國領守ノ適用ヲ受ケナイト云フノハ其點カラ申シマスト自然ノ結果デアリマシテ、併シ之ヲ關東州ヲ外國ト考ヘルト云フコトニ、恩給法ノ上デ外國ニ取扱フト云フコトニ出來タ譯デアリマセヌガ、ヤルカヤラヌカ、是ハ寧ロ施行勅令ノ方ノ問題デアリマシテ、法律ヲ動カス必要ハナイ、現ニ法ノ方ノ解釋ノ問題デアルト考ヘテ居リマス、ソレカラ御參考迄ニ申上ゲテ置キマス、恩給ニ於キマスル加算ハ關東州及南洋ハ共ニ外國ト云フ取扱ハ致シテ居リマセヌ、是ハ恩給法施行令ノ、勅令デゴザイマスガ、恩給法施行令ノ十二條ニモ其趣旨ガ現レテ居リマスカラ御覽ヲ願ヒタイト思ッテ居リマス、從テ直ニ今ノ所デ法律ヲ改正シテドウスルト云フ必要ハナカラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ第十二ハ屯田兵ノ豫備期間ヲ通算スル意思ハナイカト云フオ尋ネデアリマスガ、是ハ數年前カラ政府ハ、此屯田兵ノ豫備期間ヲ軍人ノ現役ノ在職年數ニ通算スルコトハ出來ナイト云フコトヲ、總テノ請願委員會ナドニ於キマシテモ、終始一貫シテ申上ゲテ居ル次第デアリマス、

又兵役審議會ニ於キマシテモ其點ニ付テハ同ジデアルト云フコトヲ申上ゲテ居ル筈デアリマス、兵役審議會ニ於キマシテモ恩給ノ問題ニ付テ、是ハ一時金デ別ニ解決スベキヲ相當トスルト云フコトヲ答申サレマシタノデ、屯田兵ヲ何故ニ通算シナイカト云フコトヲ申シマスト、結局ハ屯田兵ノ豫備期間ノ服務ノ性質ト云フコトニナルダラウト思ヒマス、是ハ機會アル毎ニ申上ゲテ居リマスガ、屯田兵ノ豫備期間ノ服役ト云フモノハ、果シテ事實ガドウデアッタカト云フコトハ、即チ法ニ基カザル勤務ガドウデアッタカト云フト、遺憾ナガラ恩給當局デハ判明イタシマセヌ、デ恐ラク陸軍當局ニ於カレテモ、事實ドウデアッタト云フコトヲ今日カラ調べル方法ガナカラウト思ヒマス、諸種ノ制度ニ……即チ制度以上ノコトヲヤリ、或ル制度ハ裏ヲ潛ルト云フコトガ假ニアッタスレバ……恐ラクハナカッタラウト思ヒマスガ、アッタトスレバソレデ以テドウデアッタカト云フコトヲ、國家トシテソレヲ考ヘルコトハドウシテモ出來マセヌ、從テ其當時ニ於ケル恩給令ノ改正トカ或ハ當時服務ヲ命ジタ所ノ規則トカ、或ハ屯田兵ヲ募集シタ時ニ於ケル色々ノ條件ト云フヤウナ制度上ニ現レマシタ大小幾ツカノ制度ヲ綜合シテ見

マシテ、而シテ豫備役ハ通算スル必要ハナイト云フ斯ウ云フ結論ニナル、豫備役ノ期間ハ或時代ニ設ケラレ、而シテ或ハ或時代ニ止メラレタノデアリマスカラ、其設ケラレタ當時ノ事情ニ付テハ側面カラシテ色々爲ニ……、ソレデ豫備ト云フ制度ヲ設ケタト云フコトモ申サレテ居リマスガ、併シ教育順次令ニ依リマスト、豫備役ニ於テハ歩騎砲工、サウ云フ各種ノ兵ニ付キマシテ何レモ三週間内外ノ……一年ヲ通ジマシテ三週間内外ノ訓練ニ服セシムルト云フコトニナッテ居リマス、現役ニ於キマシテハモットズット多イ、非常ニ多イ、言換ヘレバ當時一年中ヲ通ジテ訓練ニ服セシムルト云フコトニナッテ居ルノデアリマスカラ、豫備役ニ付テハ一年ヲ通ジテ大體二十日、丁度今日ニ於ケル豫備ノ演習召集見ヤウナモノニナッテ居ル、程度ハ幾ラカソレハ違フカト思ヒマスガ、殊ニ屯田兵ハ其土地ニ土着シテ居リマシテ、其處ニ部隊長ガ居ル譯デアリマスカラ、自然義務以上ニ或ハ「オイ、出て來イ」ト云フヤウナ譯モアリ、又進ンデ出テ服務シテ居ッタカモ知レナイガ、其程度ハ政府ニアリマスル諸種ノ書類ナドニ於キマシテ、此點ハ明瞭デゴザイマセヌ

ガ、政府ニ於キマシテハ今申シマシタ二十日内外ト云フコトニ訓練ノ日ハナッテ居リマス、ソレガ二十日内外デアリマスカラ、二十日ビッチリヤッテ居ルノカ、或ハ十四五日ヤッテ居ルノカ、或ハ二十日ヲ超ユルノカ存ジマセヌガ、凡ソ其ノ程度ニナッテ居ル、所ガ而モ尙ホ豫備デアアルガ爲ニドウモ、平々タイ言葉デ言ヘバダラシナイ、ダラシナイト言ヘバ不穩當ナ言葉デアリマスガ、正確ニ申シマスト、其當時豫備ヲ止メテ是ハ現役ニシナケレバイケナカッタト云フコトニ付テノ、大山閣下ガ陸軍大臣ヲヤラレテ居ル當時カト存ジマスガ、明治二十七年デゴザイマス、其時ノ改正ヲシタ理由ガ……現役ニシマシテ豫備役ヲ止メタ其理由ニ依リマスト、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、其一部分ヲ念ノ爲メニ此處デ讀マシテ戴キタイト思ッテ居リマスガ、第四條第一項ヲ改メテ現役八年後備役ヲ十二年トシタト云フ所ノ部分ノ改正理由、是ハ内閣文庫ノ中ニアリマス所ノモノデアリマスガ、當時ノヲ見マスト、「之ヲ豫備ト云フノ故ヲ以テ教育其他ノコトニ關シテ勢ヒ之ヲ現役ト區別セザルヲ得ズ、既ニ是ガ別ヲ立ツ、是ガ爲ニ豫備役ハ軍事志操ノ消耗スルモノ殊ニ多キヲ免レ難ク、其弊ノ教育上ニ及

フ、蓋シ尠少ナラザルモノアリ、是即チ自今新募兵ヨリ其豫備役ヲ廢スルノ必要ヲ認メタル所以ナリ云々ト、色ミ澤山理由ヲ述ベラレテアリマスガ、其コトニ付キマシテモサウ云フヤウナ具合デドウモ面白クナク、其勤務振ナド其他色ミ當事者ハ申シテ居リマスケレドモ、是等ヲ特ニ改正ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘタ其間ノ事情ハ、只今朗讀イタシマシタ文言ヲ通ジテ臆ゲナガラ其推測ガ出來ル譯デアリマス、外ニ其當時ニ於ケル立派ナ方々ガ記憶ニ……何十年前ノ記憶ニ連テ色ミ證據ノヤウナモノヲ出サレタサウデアリマスガ、何十年前ノ記憶ニ依リヨリカモ、當時之ヲ改正シナケレバナラヌト政府ガ考ヘ、軍部ガ考ヘテ特ニ斯ウ云フコトヲ申シテ居タ、此方ガ稍、正確デアリ、單純ナ記憶ヨリモ此方ガ正確デアリ、又公ケトシテ認メナケレバナラヌ事柄デアルト云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、豫備役ヲ現役兵ニ通算イタシマスモ云フコトハ、又現役ト同等性質及ビ程度ノモノデアルト云フコトニ考ヘルコトハ少シク不當デナイカ、固ヨリ現役デモ豫備役デモ勤務イタシマシタ日ニ於ケル所ノ其演習振ナドハ、是ハ今日ノ演習ニ召集サレタ人ガ其日ニ於ケル勤務ト同ジヤウニ、是ハ現	役ト大體變ラナイダラウト思ヒマスガ、其後只今朗讀イタシマシタヤウナ譯デ、其處ニ多少ノ疑問ヲ持チマスケレドモ、恐ラクハ其日ニ於ケル勤務振ハ現役ト少シモ變ラナイト思ヒマス、サウ云フ譯デアリマスガ、全體通ジテマバラニ……併ナガラ現役兵ト同ジヤウニ其ボツクリノ其日ダケハサウ云フヤウナ勤務ヲシテ居タト、斯ウ認定スルノガ一番妥當ト考ヘテ居リマス、是ヲ現役ノ在職期間ニ通算スル意思ハナイ次第デアリマス、以上細目ニ付キマシテノオ尋ネニ付テノ御答辯ヲ申上ゲタノデアリマスガ、總括的ナ質問ナリトシテオ尋ネニナリマシタヤウニ、軍人特異性ヲ制限シタ以上ハ之ヲ徹底スルノ意思ハナイカト云フオ尋ネデアリマスガ、是ハ軍人ノ特異性ガアルヤウナ事柄ニ付キマシテ、其特異性ニ順應スルヤウナ規定ヲ置クト云フコトニ付キマシテハ、出來ル限り致シタイト思ッテ居リマスガ、軍人ト他ノ公務員ト全然同ジヤウナ事情ノ下ニアル場合ニ於テ、軍人ダケヲ宜シク行ク、他ノ公務員ヲ惡クスル、唯ソレハ勤務ノ性質ガ違フト云フコトデナシニ、勤務ノ性質ハ同ジデアッテモ、例ヘバ同ジク鐵砲ノトナリ、爆彈ノトナル、巡查ガ國境地方ニ於キマシテ、滿洲國ニ於	ケル匪賊ヲ討伐シタリ防止シタリ致シマス場合ニハ、爆彈モ機關銃モ小銃モ、ソレ等ヲ總アソレニ使フノデ、全ク戰爭スルト同ジコトナンデアリマス、サウシテ傷ツイタヤウナ場合、其傷ツイタ場合ヲドウ取扱ウカト云フコトニ付キマシテハ、同ジヤウナ假ニ程度ノ戰爭勤務ガアリマスルナラバ、ソレハ軍人デアルト巡查デアルトヲ問ハズ、同ジヤウニ取扱ハナケレバナラヌ、甚ダ不公平ニナリマスノデ、其場合ニ軍人ダケヲ餘分ニヤルト、サウ云フコトハ私ハ出來ナイダラウ、唯軍人ノ方ハサウ云フヤウナ死ヲ冒シテ行クト云フヤウナ場合ガ非常ニ多イカラ、サウ云フ場合ニ該當スル、即チ適用サレルヤウナ法規ヲヨクスル……給與ヲヨクスルト云フヤウナ、サウ云フヤウナコトハ心懸ナケレバナラヌト思ヒマスガ、同ジ戰場ニ、同ジヤウナ戰爭ニ行タヤウナ場合ナラバ、ソレハ軍人デアルト、軍人デナイトニ拘ラズ、同ジヤウニ給與シナケレバ甚ダ不公平デナイカト云フコトヲ考ヘラレマス、匪賊討伐ナドニ軍人ト巡查、警部ナドガ一緒ニ同ジ戰列ニ立ッテ、サウシテ戰フ場合ガ非常ニ多ウゴザイマスガ、其場合ニ軍人ノ方ハ是ダケノ額ヲヤル、又巡查ヤ警部ノ方ハ巡查ヤ警部ナルガ故ニ、同ジ傷ツイテ、額ヲ下	ゲルト云フコトハ、是ハ私ハ公平ヲ失スルコトデアラウト思ヒマス、オ尋ネニナリマシタノモ、ソシナコトヲセイト云フ御意思デナイコトハ萬ミ存ジ上ゲテ居リマスノデサウ云フヤウナ意味ニ於キマシテ、特異性ヲ十分ニ考慮セヨト云フコトニ付キマシテハ、無論ソレヲ出來ルダケ特異性ヲ認メテ行キタイト云フ積リデハ居リマス、尙ホ恩給法改正ニ當テ何カ豫算ヲ割當テテ居ルヤウニ、モウ既ニ是ダケヨリ豫算ハナイノダカラ、ソコデ仕方ガナイ、是ダケノ金額シカヤレナイ、例ヘバ特殊扶助料ニ付テデアリマス、先日淺田閣下ノオ尋ネデゴザイマシタカ、誰方カ存ジマセヌガ、ソレニ對シテ陸軍當局カラソレニ對シテオ答ヘ申上ゲマシタ時ニ、ドウモ豫算ヲ割當テラレテ居ルカラ、ソレデモヤリタイケレドモ仕方ガナイノダト云フヤウニ取レルゾト云フ御注意ガアッタヤウニ覺エテ居リマス、先刻ノオ尋ネニモ其ヤウナ……、或ハ御承知カモ存ジマセヌガ是ハ別ニサウ云フ譯デアリマセヌガ、先程既ニ特殊扶助料ノ額ニ付テノ御答辯ヲ申上ゲマス中ニオ答ヘシテ居リマスガ一方ニ恩給ノ、國力ノ普通ノ膨脹率ニ伴ハナイ急角度ノ増額ガアルニ對シテ、ソレヲ防止シタイト云フ信念ガアリマスル
--	---	---	--

爲ニ、ドウシテモソレニ依ル所ノ自ラナル
制限ヲ受ケザルヲ得マセヌノデ、若シサウ
云フコトガナクテ幾ラデモ豫算ハ膨脹仕放
題、國費才構ヒナシト云フヤウナコトニナ
ルノデアリマスルナラバ、是等ハ胸ノスク
程増額モ出来ルノデアリマスケレドモ、サ
ウ云フ風ナコトガアル、是ガ又今日ニ於ケ
ル恩給制度ノ確立ト云フ方カラ申シマシテ
モ避クベカラザルコトデハナイカト考ヘテ
居リマスノデ、サウ云フヤウナ制限ヲ考ヘ
ナケレバナラナイモノデアリマスルカラ、
ソコデ是ダケデ十分ダトマデハ考ヘラレナ
イケレドモ、差當リトシテモ是ダケハヤッ
テ賄フト云フコトデ、此程度ニシタノデア
ル、陸軍當局ノオ答ヘシマシタノモ多分此
趣旨ト考ヘテ居リマス、更ニ陸軍當局トシ
テドウカト云フコトニ付テハ更ニオ尋ネガ
アレバ陸軍當局カラ申上ゲルコトト存ジマ
ス、淺田閣下ノオ尋ネニ付キマシテ以上申
上ゲテ置キマス

同一ノ情況ニ在ル場合ニ於テ軍人ノミヨク
スルコトハ出来ナイ、此事ハオ前モサウ考ヘ
テ居ルガラウ、ダカラ言フ迄モナイガ念ノ
爲ニ申ストデモ取レルヤウナオ答デアリマシ
タ、之ハ御察シノ通りデ私共ト雖モ、此時勢
ニ鑑ミテ警察官等ノ爲メ危害ヲ冒シテ恰モ
戰時ト同様ノ狀況デ獻身ノニ其職ニ當リマ
ス人ニ優遇ヲ與ヘルト云フコトハ、勿論大賛
成デアッテ、寧ロ其少ナキヲ遺憾トスル位ノ
モノデアリマス、デ之ハ唯之ダケヲ申セバ
根本的デハアルケレドモ、非常ニ抽象的ニ
ナリマスルノデ、具體的ノ一例トシテ二三
申上ゲマシタコトガアリマス、ソレニ付テ
ハ自ラ見解ヲ異ニスル點モアリマスノデ、
後ホド各問題ニ付テモウ少シ考究ヲ進メタ
イト思ヒマス、質問ノ第一ニ對シマシテ、
下士以下ノ軍人ハ一年入營シテ、サウシテ
結果トシテ警察官ト同一ニナッテ、故ニ之ヲ
十二年以下ニ下ゲルト云フ考ヘモナイ、又
十三年ニ上ゲル考ヘモナイト言ハレマシタ、
勿論其十三年云々ハソレハ附タリデアラ
ウト思フノデアリマス、私ハ是等ノ印象ニ
依テ、恩給局長ノ頭ニドウゾ總理大臣ノ御
述べニナッテ特異性ガ深刻ニ御分リニナル
ヤウニト云フノガ趣旨デアッタノデアリマ
スルシ、此問題ハ事實ト致シテ、下士以下

ヲ十二年トシ、警察官ヲ十二年トスルコト
ニ私ハ異存ハナイノデアリマスカラ、此質
問ハ之デ打切りト致シマス、次ニ第二ノ問
題、之又強ヒテ軍人ヲ一年半延バシテ文官
ノ二年ト同ジ比例ニシロト固執スルモノデ
ハナイノデアリマシテ、軍人ノ特異性ヲ大
ニ認メテ、サウシテ此根本カラ異、テ居ル
點ガ多々アルノデアアルカラシテ、各般ノ條
項ニ於テモ思ヒヲ茲ニ致シテ貫ヘバ宜シイ
ノデアリマシテ、私ハ現在ニ於テモ一年半
トスルコノガ適當ト思ヒマスケレドモ、茲
ニ於テ又之ニ伴フ煩鎖ナル、イロ／＼面倒
モゴザイマスルカラシテ、此質問ハ之ダケニ
致シマス、併ナガラ第三段ノ點デアリマス
所謂第一款症、第二款症ヲ審議會ノ方針通
リ増加恩給ニ比ベルコトニ付テハ私ハ、マ
ダ腑ニ落チナイ點ガ大ニアルノデアリマス、
其御言葉ノ中ニ大ニ心配ヲシタ、之ヨリ良
クナルコトニシタ、ソコデ金目カラ數ヘテ
見レバ餘リ等差ガナイ、從來等差ガアリ過
ギタコトニ依ッテ問題ガアッタ、ソレガ等差
ガ減ッテカラシテ宜シイヤノ如キ御考ヘガ
一ツ含マレテ居リマシタ、果シテサウデア
リマスルナラバ、百尺竿頭一步ヲ進メテ、
モウ少シ待遇ヲ宜クスルト云フコトモ可能
デアラウト思ヒマス、元々此審議會ノ答申

ハ之ヲ金ヲ少シ餘計ヤッテ、ト云フ問題バカ
リデナク、第一款症、第二款症ニ書イデア
リマスル、何カニ出テ居リマスル規則ノ内
容ヲ見テ見マスルト、一側ノ拇指ヲ全ク失
ヒタル者、或ハ一時ドウシタル者トカ云フ
譯デアリマシテ、現ニ増加恩給ニナリマス
ル所ノ其症狀ノ等差ニ於テ甚シキ差ガナイ、
詰リ是等ハ増加恩給トシテ扱フノガ適當デ
アルト云フコトヲ十分ニ考究シタガ故ニ、
アノ答申ガ出タモノニ相違ナイノデアリマ
ス、私共モ至極ソレハ御尤モト考ヘテ居ル
ノデアリマス、故ニ此趣旨ハ増加恩給トス
ルト云フコトガ根本義デアリマシテ、金ヲ
少シ多クシテヤル云々ト云フコトハ末ニ屬
スルモノデアリマス、而シテ其増加恩給ヲ
幾許ニスルカ、又普通恩給ノ額ヲドウスル
カト云フ如キコトニ付キマシテハ、是ハ尙
ホ研究ノ餘地ガアリマシテ、更ニ具體案ニ
依リマシテデナケレバ茲ニ申スコトハ出来
ヌノデアリマシテ、何處マデモ私ハ是ハ答
申案ノ通りニスルノガ趣旨ニ於テ宜イ、現
ニソコ迄政府ノ御考ヘガ向ヒツツアルヤウ
ニ私ハ御言葉ノ中カラ察シタノデアリマス、
デ之ニ付キマシテハ先ツ恩給局長ノ御言葉
ガアリマシタガ、陸海軍ノ當局ニ對シテ陸
海軍ニ於テ是非トモ今回ノ改正ガ適當ト信

ズル、之ヲ増加恩給ニ繰上ゲルト云フコトハ不適當ナルガ如キ御考ヘデアアルカドウカニ付テ陸軍、海軍當局ノ、此問題ニ對スル御答辯ヲ御願ヒシタイノデアリマス、先ツ此點カラ始メタイト思ヒマス

○説明員(中井良太郎君) 衆議會ノ答申案ヲ丸吞ミデ取込ムカ、只今御案議ヲ願フテ居リマスル法案ノ通りニスルカト云フコトニ付キマシテ、實ハ絕對ニ不適當ナモノデアルカ、適當ナモノデアアルカト云フコトハ私共モ言ヘヌト思フ、各、制度ニハ例外ガアリマシテ、數學ノヤウニキチットハ參ラヌト存ジマス、私共ハ元來増加恩給ト云フモノハ其立前ニ於テ、癱疾不具ト云フコトヲ本旨トシ、現行ノ傷病資金ハ癱疾不具ニ至ラズトモ、斯ウナッテ居リマスルノ

デ、根本ノ著意ニ於キマシテ一ツハ癱疾不具、一ツハ癱疾不具ニ至ラズトモト云フ所ノ限界ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、ソコデ癱疾不具トハ何ゾヤ、或ハソレニ至ラズトハ何ゾヤト云フコトハ、實ニ醫學的ノ見地カラ見ナケレバナラヌト思ヒマス、從テ現行法上ノ増加恩給ト現行法上ノ傷病資金トノ關係ヲナガラカニシマス爲ニハ、ナガラカニスルコトハ非常ニ大切ナコトデアアルコトハ申迄モアリマセヌガ、此根本思想デ

アル一ハ癱疾不具デアリ、一ハ其程度ニ至ラヌト云フ所ノ限界ハ附ケテ置ク必要ハアルト思ヒマス、之ヲ考ヘマスと云フト、第一款モ第二款モ理論トシテハ増加恩給ニ繰入レルコトナク、寧ロ其中間トシテ傷病年金制度ヲ取ル、此傷病年金制度ニ於テ第一款乃至第四款ノ等差ヲ附ケルコトガ適當デナイカト考ヘテ居ルノデアリマス

○説明員(多田武雄君) 御答ヘイタシマス、現行ノ第一款症、第二款症程度ノ傷病ノ者ニ對シマシテ、ソレヲ普通恩給ヲ伴ヒマスル増加恩給ヲ給スルニ即チ兵役義務者及癱兵待遇會議會ノ答申案通りニシナクテモ宜シイノカト云フ御尋ネデゴザイマスルガ、兵役義務者及癱兵待遇會議會ノ答申、即チ昭和四年五年ノ邊リカラ、今ノ案議サレマシタ當時カラ、私ハ現職ヲ恭ウシテ居リマシテ、其邊ノ事情モ大體承知シテ居ル積リデアリマスガ、只今御示シニナリマシタ如ク此款症、二款症ヲ増加恩給ニスルコトヲ、其事柄ヲ決定サレタノデアッテ其金額等ノ多寡ヲ言ッテ居ルノデハナイ、ト云フ風ニ答申ヲ御解釋ニナッテ居ラレルヤウデアリマスケレドモ、此款症二款症ヲ増加恩給ニスルコト云フコトニ決定サレマシタ元ノ理由ハ、細カイコトヲ申ス様デアリ

マスガ、今ノ増加恩給ノ一番最低限度ノ負傷、分リ易ク申シマスと云フト、此指二本ガ六項症、ソレカラ拇指一本ガ一款症、斯ウ云フ風ニ境目ガ非常ニ指一本ノ差ト云フヤウナ輕微ノ差ナルニ拘ラズ、一方ハ普通恩給ヲ伴フ増加恩給ヲ支給サレ、一方ハ增加恩給年額ノ數年分ニシカ達シナイ、一時金タル一時傷病賜金ヲ給セラレニ止マル、此差ガ餘リニ劇シイカラシテ何トカ適當ナ方法ヲ講ジテ、之ヲ段階的デナシニ、ナガラカニシヤウト云フ目的デアッタヤウニ記憶シテ居ルノデアリマス、普通恩給ヲ伴フ増加恩給ニセネバナラヌト云フノハ、之ニ程度ヲ現シタダケデアリマシテ、金額ノコトデハナイ、増加恩給其モノニセネバ

イカヌノダト云フ趣旨デハナカッタヤウニ考ヘテ居リマス、斯ウ申シマスと云フト、如何ニモ今度ノ改正案ノ程度デ海軍トシテ全然満足シテ居ルノデアルト云フ風ニ取レマスカモ知レマセヌケレドモ、其點ニ付キマシテハ、全然今度ノ改正案ガ最モ適當デアルト云フ風ニ、最金ノモノデアルト云フヤウニ満足シテ居ル次第デハゴザイマセヌ、只今回ノ恩給法改正ノ根本方針デアリマスル所ノ財政上ノ理由、其他ノ精神的理由ト申シマスルカ、要スルニ政府ノ方針ニ

從ヒマシテ、此程度デ忍バナケレバナラヌノデハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵淺田良逸君 只今最後ノ海軍側ノ御説明ニ於テ大イニ私共ノ了解シマシタ所モゴザイマス、唯併シ普通恩給ヲ伴フ増加恩給ニスルト云フ答申案ニナッテ居ルノデ、私カラ其時ドウ論議サレタカト云フコトハ十分存ジマセヌ、形ノ上カラ私ハ普通恩給ヲ伴フ増加恩給ノ要求デアアル、明確ナル答申案ノ、誰ガ讀ンデモ間違ヒノナイ文句ニ依ッテ之ヲ主張シタイノデアリマス、而シテ其精神ハ餘リニ極端ナル差異ガアルカラ、ナガラカニシナケレバナラヌノデアルト云フコトモ亦、是ハ決シテ否ムモノデモナイノデアリマス、デアアルカラシテ左様ニナガラカニシテ、而シテ答申案ノ通り之ヲ増加恩給トスルト云フ案ヲ構成スルノハ政府ノ當ニ努ムベキ所デアラウト思ヒマスノデ、左様ナコトナシニ、唯ナガラカニシタイト云フダケデハ、私ハ極メテ不徹底ナモノデハナカラウカト考ヘルノデアリマス、次ニ陸軍當局ノ只今ノ御話ニハ、私ニ餘程不明確ナ點ガアルノデゴザイマスガ、不具癱疾ノコトヲ御述ベニナリマシタ、若シモ法案ノ上ニ不具癱疾ト云フモノノ定義ガゴザイマスナラバ、誠ニ結構ナコトデアリマスケレドモ、

私ハ不幸ニシテソレヲ存ジマセヌ、ソコデ自カラ程度ト範圍デアルカラシテ、中間ニ屬スルモノヲドウシヤウカト云フ問題ガ起ラデ居ルノデアリマス、二本ノ指ヲ失ヘバ不具癱疾、一本デアアルカラ不具癱疾デナイト云フコトハ私トシテハドウモ言ヘマイト思フノデアリマス、ソコデ二本失ツタモノニ對シテ一本ノ差ガ非常ニ甚ダシイカラシテ、茲ニ差等ヲ緩和スルト云フ政府ノ意圖モソレハ分ツテ居ルノデアリマス、分ツチャ居リマスケレドモ、ソコマデ進ンダモノナラバ何故一ツ普通恩給ニ伴フ増加恩給ニシナカッタカ、斯ノ如ク致シテ居リマスルト、

是ハ到底只今ハ恩給令ガ改正ニナリマスケレドモ、此恩給令ヲ以テ満足スルモノデハナク、誠ニ氣ノ毒ナ状態ニアリマスル所ノ傷病者ハイツ迄モ訴ヘテ參ル、陳情ヤ或ハ請願ハ宜イト致シマシテモ、誠ニ不愉快ナ左様ナコトヲ後年長ク致スト云フコトハ誠ニ遺憾ナコトデアアル、サウセヌデモ直ルヤウニ今色ニ政府委員ノ御言葉ヲ聞ケバ、吾等トサウ大差ナキマデニ趣旨ニ於テハソコニ及ンデ居ルト思フ、又財源云々ノコトニナリマスレバ、是ハ幾許ノ算當ニナルカ存ジマセヌガ、サウ憂フベキモノデハナカラウト思ヒマス、デアリマスカラシテ矢張り

是ハ答申案ノ通りニシテ、サウシテ内容ニ於テハ、其金額ニ於テハ又色ニ御定メニナル必要ガアルト云フコトヲ主張致シタイノデゴザイマス、私ハ是レ以上此點ニ付キマシテ申上ゲルコトハゴザイマセヌガ、恩給局長ニ對シマシテハ、海軍ニ於テモ御希望ヲ撤回シタ譯デモナク、陸軍ニ於テモ亦其希望ヲ有スルヤニ考ヘテ居リマスノデ、何トカシテ是ヲ答申案通りノモノニ向ケテ行クト云フコトモ、思ヒ返シテ貰ヘナイモノデアアルカ否ヤニ付テ質問スル次第デゴザイマス

○政府委員(補員詮三君) 此問題ハ結局何處ニ境ヲ置クベキカト云フコトニ至ルダラウト思ッテ居リマスガ、見方ニ依リマシテハ現在ノ所謂六項症ト一款症トノ間ニ於ケル境、是ヲ是認スルノガ相當デアルトモ考ヘラレマセウシ、又答申案ニ於ケル如クニ第二款症ト第三款症トノ間ニ相當スベキモノ、見様ニ依ッテハアルカト存ジテ居リマス、其不具癱疾ノ程度ト稱シマスルノハ、明治八年ノ恩給令當時ハマダ法律デハゴザイマセヌガ、太政官達ニ依ッテデアリマシマスガ、陸軍及海軍ニ付テ規定サレマシタノデスガ、ソレ以來二十二年ノ恩給……各軍人

恩給法、官吏恩給法、其他學校職員ノ恩給

ノ法律ガ出來マシテゴザイマスガ、ソレカラ以後ズット通ジマシテ其程度ハ丁度六項症ト申シマスルノハ、片腕利カヌヤウニナッタ程度ト考ヘテ居ル譯デアリマスガ、先程申上ゲマシタ指ニ二本ト申シマシテモ、右ノ人差指ト拇指、是ガスッカリナクナッテシマッタヤウナモノヲ考ヘテ居ル、拇指ガアッテ人差指ガ無クナッタト云フ程度、是ハ物ヲ擱ンダリスルノニ大シテ不自由ハナイノデアリマスカラ、サウ云フヤウナ所ヲ標準ニシテ色々其實例ヲ寄セ集メマシテ段々出來上ツタ譯デ、指ノ問題モサウ云フヤウナ所カラ例ニ舉ゲラレタノデアリマスガ、丁度東京ト横濱、横濱ハ東京ノ近クニアル、ダカラ横濱ハ東京ノ近所ダト云ッテ宜シイ、保土ケ谷ハ横濱ノ近クデアアルカラ、マア東京ノ近クト云ッテ宜カラウ、更ニ小田原ハ保土ケ谷ニ近イ所ダカラ東京ノ近クト云ッテ宜カラウト云フ風ニナルト、倫敦ハ東京ノ近クダト云ハザルヲ得ナイノデアリマス、何處ニカ境目ヲ置キマシテ、境目ガ假ニ答申案ノ如ク第二款ト三款ノ間ヲ境目ニ致シマシテモ、第二款ト三款目ノ境目ニ行キマスト全ク紙一重ノ境ニナリマス、更ニ其程度ヲ下ゲマシテモ矢張り同様デアリマス、何處ニカ人工的ニ區切ヲ付ケナケレバナラヌ答デアリマ

ス、此人工的ノ區切ヲ何處ニ極メルカト云フコトハ、人毎ニモ違ヒマセウシ、又同じ人デモ時代ト共ニ變ルダラウト考ヘテ居リマス、答申案ヲ見マシテ、或ハアレヲ増加恩給ノ境目ニスルノガ最モ適當ダト云フコトニ考ヘテ居ルカモ存ジマセヌガ、先程海軍ノ方カラモ申上ゲマシタヤウニ、是ハ矢張り程度ヲナダラカニスルト云フコトノ趣旨デアリマスルシ、又不具癱疾ト云フ方面ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタ通り沿革的ニ既ニ極ッテ居ルノデ、ソレニ基イテ金額モ皆貰ッテ居リマスシ、又裁定ニ當リマシテモ、如何ハシキモノハドチラカト言ヘバ六項症ノ方ニ入レル方針ヲ執ッテ居リマスノデ、是ヲ實際ニ於キマシテハ一款症ト云フモノニ上ボシテ行ク、殊ニ三款症ナドニ至リマス、可成リ程度ガ低クナッテ參リマスト、偶、洩レテ居ル、實際上ニ於テ洩レテ居ル、或ハ診斷スル時ニ診斷ノ仕損ヒガアルト云フコトハ別デアリマスガ、ソレハ今日ニ於キマシテモ、マダ直ス途ガ講ジテアリマスガ、サウ云フ事實上ノ診斷ノ違ヒト云フヤウナコトハ別ト致シマシテ、制度ノ上ニ於キマシテハ、先ヅ今日ノ六項症程度ヲ之ヲ不具癱疾程度トシテ増加恩給ノ最低限ト見テモ、ソレ程不當デハナイヤウ

ナモノニナリテ居リマス、丁度境目ニナリマス、是ト是トドツチガ違フカト云ハレルト、非常ニ困ルノデアリマスガ、六項症ニナルカ、ナラヌカト云フヤウナ所デハ、裁定ニ當リマシテハ可成リ氣ヲ使ヒマシテ、成ルベク本人ノ利益ナヤウニ裁定シタイト云フ考デ居リマス、先程申上ゲマシタヤウニ、ソレニ對スル程度ニ付キマシテモ、色ミ先例其他ヲ整理イタシマシテ、不公平ノナイヤウニシテ行キタイト云フ考ヲ有テ居リマス、今回ノ改正ニ當リマシテハ、此程度デ宜シクハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス

○男爵淺田眞逸君 誠ニ外ノ皆サンニ諄イヤウデゴザイマスガ、暫時御辛抱ヲ願ヒマシテ、此問題ハ大正十二年ニアノコトガ極マデカラズト繼續シテ來タ、斯ノ如キコトガアリマスルノデ、ドウシテヤッタラ宜イカト云フコトニ付テ、政府デハ自分ノ考ダケデハ行カクナツタ、之ヲ廣ク一ツ民間ノ之ニ關スル權威者、ソレカラ鑑識ヲ有テ居ル方ナドヲ當時ノ政府ガ選擇ヲ致シマシテ、公平ナル判斷ヲ求メタ、是ガ即チ審議會デアルト思ッテ居ル、デアルカラ政府モドツチニシヤウカ、何處デ差等ヲ付ケヤウカト云フコトニ付テ迷ウタ、其迷ウテ居ル時

ニ今度ハ審判官ヲ其處ニ置イタ、其審判官ガ判決ヲ下シタ、斯ウ云フ具合ニ見ルノガ穩當デナカラウカ、別ニ採用シテモ採用シナクテモ、ソレハ諮問機關ダカラ構ハナイト云フノデナク、現ニ今恩給局長モ仰シヤラレマシタ如ク、ドツチニシタラ宜イカト云フコトハ誠ニ微妙ナ差デアッテ分リニクイノデアルカラ、公正ナル第三者ノ判斷ヲ求メテ其審判官ガビシヤット極メタ、其増加恩給ヲスルト云フコトヲ之ヲ蹴飛バス、此事態ガ後手ニ累ヲ殘スモノデアルト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ一款症、二款症ヲ繰上ゲテモ、其下ト差等ガ出來デ云々、ソレハサウカモ知レマセヌケレドモ、私ハ此一款症、二款症ハソコニ増加恩給ヲ繰上ゲマシタナラバ、今回ノ問題ハ之ヲ以テ終了ヲ告ゲルモノデアリマスケレドモ、然ラズンバ是ハ何時迄モ殘ルモノデアルト云フ御覺悟ガ必要デアル、是ハ當然何人カラ考ヘテモ私ハサウダト思フノデアリマス、單ニ唯其間ノ區別ガ立チニクイカラ斯ウシタト云フノデハ餘リ政府ガ自分ノ自我ヲ通サユウニ思ハレル、何故ナラバ第三者ノ審判ガアッタ、此處ニ審判官ヲ連レテ來ル、審判官ニ判斷ヲシテ貰フ、ケレドモ御前ハ勝手ナコトヲヤッタラウ、斯ウ云フ位ニソレ程著明デアルナラ

バ、斯様ナ審議會ニ斯様ナ問題ヲ付スルニモ及ブマイモノト思ヒマス、私ハ是ハ尙ホ今ノ政府ニ於テハ承服ガ出來ルヤウニ主張スルノデゴザイマスケレドモ、是以上此問題ニ付テ質問ヲ重ネルコトヲ控ヘマシテ、次ノ問題ニ移リマス、其次ハ公務死亡増加恩給ノ遺族ノ扶助料、是ニ付テノ御説明ト致シマシテ、全然之ガ財政カラ來タ、十分ノ三、ソレ以上ヤルコトハ宜シイケレドモ、ドウモ金ガ嵩ムカラ、斯ウ云フコトデアリマシタ、是ハ即チ私ハ大局ヲ餘リ心得マセヌカラ、申シマセヌガ、此處ノ委員カラ段段ト大局ニ付テ御話ガアル所以デアリマス、其大局ノ御議論ト對照イタシマシテ、遺族ノ扶助料ヲ少シバカリ増スコトニ付テ國家ノ財政云々ト云フコトハ餘リニドウモ問題ノ比例ガ釣合ハナイト思フ、趣旨ニ不同意デナシ、而シテ又問題デアル所ノ遺族ハ困窮ノドン底ニ陥ッテ居ル者モ澤山茲ニアルンダカラ、ソレハ而モ戰死又ハ之ニ準ズベキ公務死ニ基因シタ者ノ遺族デ誠ニカワイサウダガ今トシテハ是ヨリ以上出來ヌト其一點張りデ押シマスケレドモ、國ノ財政トシテ、國民ガ之ニ對シテ如何ニ同情ヲシテ居ルカ、殊ニ現在ノ此時勢、我々ハ皇軍ノ犧牲的精神ニ俟ッテ居リマス、此機會ニ於テ

斯ノ如キ問題ヲ解決スルコソ大切ナコトデアル、政府ガ進ンデ爲サナケレバナラヌコトデアルノヲ、嵩ムト言ウテ其額ハ甚ダ微少ナモノデアアル、趣旨ニハ同意デアルト云フコトハドウモ我々ノ腑ニ落ちヌ所デアリマスノデ重ネテ十分ノ三ガ適當デアル、今ハ是デ我慢ヲスルト云フコトニ付テ有力ナル論據ガゴザイマシタラ承リタイト思ヒマスト共ニ、又陸軍海軍ニ對シマシテ此程度ニ於テ御満足ナサッテ居ルカ否ヤ、御尋ネ申上ゲタイトデアリマス

○政府委員(總員詮三君) 特殊扶助料殊ニ戰爭又ハ普通ノ公務ニ因リマシテ倒レタ者ノ遺族ノ扶助料ノ増方ガ少ナイデハナイカト云フ御尋ネニ付キマシテハ、先程申上ゲマシタヤウニ是ダケヲ取り出シテ來テ考ヘマスルト、モウ少シ増シテヤリタイト云フ希望ハ無論政府デモ持ッテ居ルノデアリマス、ケレドモ此問題ガ具體的ニ現ハレマシタノハ極ク近年デアリマシテ、私ノ耳ニ最初ニ這入りマシタノハ一年半バカリ前ノ事柄デアリマス、其陳情ナドガ極ク少數ノ人ガ一遍陳情ニ私ノ所ヘ初メ參ッタ切リデアリマシタ、其陳情ナドガ參ル前カラ實ハ大正十二年ノ現行恩給法制定ノ當時カラ機會アレバ政府ト致シマシテモ假令幾ラカナリ

トモ其死亡シタ時カラ暫クノ間ト云フモノハ其遷リ變リヲ滑カニシテヤリタイ、若シ諸般ノ事情ガ許スナラバ、サウ云フ又機會、時機ガ來ルナラバソレハモ少シ、幾ラデモ増シテヤリタイ、或ハ多々益、可ナリカモ知レマセヌケレドモ、サウモ參リマセヌデ、今回ノ恩給法ノ改正ニ當リマシテハ、外ノ方ノドレヲ御覽ニナッテ戴キマシテモ分リマスガ、外ニ幾ラモアリマスケレドモ、増額スルト云フヤウナコトハ此一時金癡兵ノ問題デアル傷病年金ヲ拔キニシテハ殆ドゴザイマセヌ、年限通算ノヤウナコトデ其程度ヲ緩和スルヤウナコトハアルケレドモ其代リニハ一方例ヘバ九十九條ヲ廢シタ如キ、差額停止ノ特殊ノ利益ヲ廢止スルト云フヤウナコトヲ之ニ伴ハシメルトカ云フヤウナコトデ純然タル給與増額ト云フコトハ外ノ方ニハ考ヘテ居ラナイニモ拘ハラズ、サウシテ財政方面カラ言ヘバ之ニモ尙ホ増シテ貰ヒタクナイト云フコトヲ恐ラクハ考ヘ得ルト思ヒマスケレドモ、ソレニモ拘ラズ如何ナル事情ガアッテモ假令少シデモ之ヲ増サナケレバト云フ態度ガ政府モ此點ハ維持シテ參リマシタヤウナ譯デ、額ガ少イデハナイカト申サレマスルガ、遺族ノ如何ニ依リマシテハ之モ此程度ノ額デモ十分ナ者

モアリマセウシ、又之ヲ假リニ倍ニ致シマシテモ少過ギルト云フヤウナ遺族モアリマセウシ、之ヲ個別的ニ考ヘマスレバ色々ニ其結果ガナルダラウト思ッテ居リマス、唯制度ノ問題トシテハ之ヲ抽象的ニ極メテ行カナケレバナラヌシ、受給者ノ方ノ入用ト云フコトダケヲ標準ニシテ恩給額モ扶助料モ額ヲ極メテ行クト云フ譯ニモ參リマセヌ、ソレハ斟酌ハ致シマスケレドモ、而モ一般的ニ之ヲ見ナケレバナラヌシ、給與ノ方面カラ慰藉ノ方面カラノ考ヘヲ多分ニ容レナケレバナリマセヌケレドモ、受給者ノ方ノ入用ガ非常ニ澤山要ル、遺族カラ言フト左様ニソレニ澤山ヤラナケレバナラヌト云フ一點張りニモ參リマセヌヤウナ譯デ、ソレハ諸般ノ事情ヲ考ヘマシテ今回出來ル範圍内デ、先程申シマシタ漸増防止ヲスルト云フ目的ヲ加味イタシマシテ、サウシテ出來上リマシタモノト致シマシテハ此限度デ宜シイ、是ガ金額ニシテハ少イデハナイカト云フ御話モアリマスガ、社會ノ高級ニ居ラレマス方々カラ御覽ニナレバ非常ニ少額ニモ考ヘラレル、小遣ニモ足りナイト云フヤウナ御考ヘモアリマセウケレドモ、是ダケデモ増シテアリマスルコトハ私モ地方ノ生活モヨク存ジテ居リマスルガ、是デモ可

ナリ潤フヤウナ次第アリマス、ソレハ多益、可ナリダト思ヒマスケレドモ、今申シマシタヤウナ外ノ事情ガアリマスルカラ、少ク共此程度デ行キタイト云フノデ實行上可能ナル限度ト致シマシテハ、此金額ヲ盛々次第デアリマス

○説明員(中井良太郎君) 陸軍側ト致シマシテ扶助料ノ増額ト云フコトハ非常ニ大事ナコトデゴザイマシテ、之ニ關シマシテハ

多キニ越シタコトハナイト存ジテ居リマス、今回モ之ヲ増ス所ノ話モアリマシタノデ、兎ニ角ニモ恩給改正ノ重大主眼デアアル漸増防止ノ精神ニ反セヌ限り極限迄増スト云フコトヲ、私共ハ申シマシテ漸ク此程度ニシテ戴クコトガ出來タノデアリマス、固ヨリ理想トシテハマダ私共ノ理想ニ達シマセヌガ、今樋貝恩給局長ガ言ハレマシタ通り、此三割増五年間ト云フモノハ、私共今日ノ農村ノ實情ニ鑑ミマシテ、相當露フモノト思フノデアリマシテ、效果ハ決シテ鮮少デハナイト思ヒマス、併シ之ヲ以テ我々ノ十分ニ満足スル程度デアルト云フコトハ申上ガ兼ネテ居ルノデアリマスガ、現在ノ事情カラ行キマスレバ、先ヅ〳〵今日ハ之ヲ以テ満足シテ行カナケレバナラヌト、斯ウ考ヘテ居リマス

○説明員(多田武雄君) 海軍ト致シマシテモ、陸軍當局ノ御意見ト全然同意見デゴザイマシテ、今回ノ恩給法ノ改正ニ於キマシテ、公務員全般ニ互リマシテ一般的減額ヲサヘモ斷行シナケレバイカヌト云フ點ニモ鑑ミマシテ、單リ公務ニ基因スル扶助料ノミニ付テ最大限度ヲ要求スルコトヲ最後マデ主張セナカッタ次第デアリマス、御諒承ヲ願ヒマス

○男爵淺田良逸君 只今ノ陸海軍ノ御答ニ依ッテ、其希望スル所ハ能ク分リマス、又恩給局ニ於キマシテモ、事情ガ許セバモットヤリタイケレドモ、ヤレナイカラ仕方ガナイノデアアル、此處ヘラガ會デ度ノ問題トシテ論ゼラレテ居リマスガ、今恩給法改正ノ時機ニアラズト言ハレテ居リマス一ツノ證據ト思フノデアリマス、詰リ行政ナリ色々ノ改正ニ於テ、金ガ出來ルナラバ斯様ナモノハモット増シテヤラナケレバナラヌ、増シテヤルト云フ精神ハ恩給局モ持ッテ居リ、陸海軍モ最モ熱望シテ居ル、斯ウ云フコトガ明ニ其邊ノコトヲ物語ッテ居ルヤウニ私ハ察スルノデアリマス、而シテ只今念ノ爲メニ伺ヒマスガ、最低イモノトシ、増加恩給ノ最下限ヲ受ケテ居リマス遺族ガ十分ノ三ト云フノハ、凡ソドノ位ノ金

額ニナルモノカラ御尋ネラシテ見タイと思フノデアリマス

○政府委員(堀貝詮三君) 公務傷病で斃レ

マシタ者デ、實際上ノ問題ト致シマシテハ、假ニ陸軍ノ二等兵ガ……海軍ノ四等兵デアリマスガ、陸軍ノ二等兵ガ其儘で假ニ何等ノ昇級スルコトナシニ死ンダト致シマスルト、其普通恩給ガ百五十圓ニナッテ居リマスカラ、最低十一年ニナッテ居リマシテ、一番少イコトヲ考ヘマシテ、ソレノ從軍戰死ノ場合ニ付キマシテハ、丁度同額ヲヤルコトニナッテ居リマスカラ百五十圓、ソレノ十分ノ三トナルトスルト四十五圓、所ガ事實ハ戰死イタシマシタヤウナ場合ニ百五十圓ノ二等卒デハナシニ、今マデノ實例ニ依リマスと、多クハ一級ハ上ッテ居リマス、二級行ッテ上等兵ニナッテ居ルト云フ場合ガ一番數ガ多イカト記憶シテ居リマス、是ハ正確デハゴザイマセヌガ、サウシマスと百八十圓、百八十圓ノ三割デアリマスカラ、五十四圓デアリマスカ、ソレガ増サレ

ルコトニナリマス、額ハ閣下方ガ御覽ニナリマシタラ、非常ナ少額デハナイカト云フコトヲ御考ヘニナリマスカモ知レマセヌガ、基礎ニ於キマシテモ斯ウ云フヤウナ譯デ、可ナリ農村ノ今日ノ疲弊状態ハ酷イモノデアリマシテ、ソコヘソレダケ參リマスコトハ、相當驚ヒマス、故ニ地方ニ參リマシテ、墓ナドガ綺麗ニ出來テ居ルノハ、聞イテ見マスルト受恩給者ノヤッタ墓デアルト云フヤウナ實例ガ、最近ニ於キマシテアルノデアリマス、兎ニ角是ダケヤリマスと苦シイ所ガ餘程助カルドラウト思ヒマス

○男爵淺田良逸君 今數字デ御示シニナリ

マシタ如ク其儘デアレバ四十五圓、併シ二級上ルノハ普通ダト仰セラレタノハ、日露戰爭當時ノ事情ヲ知ラナイ、西比利亞事變後ノ狀況デアルト云フコトヲドウゾ御記憶ヲ願ヒタイ、假ニ二級上ッタト致シマシテモ五十四圓ノコトデアル、ソレハ貰ハヌヨリハ宜イニ相違ゴザイマセヌ、併ナガラ生活ト云フコトヲ考ヘテドウナリマセウカ、之ニハ子供モアルト思ハネバナリマセヌノミナラス、主人ハ先程モ陸軍當局ノ説明ノアリマシタ如ク不具デアリマス、片輪デソレハズツト生活ラシテ來タ、サウシテ十分ノ働キモ出來ヌカラ困ッテ居ルニ相違ナイ、ソレカラ今度ハ遺族ニ移ッタノデアリマスカラシテ、是ハ與ヘザルヨリモ確ニ相當ノ金額デゴザイマスケレドモ、是ガ爲メニドウスウト云フコトデ數ヘ立テスルノニハドウシテモ私ハ少ナイト思フノデアリマス、此點

ニ付キマシテハソレ以上ノ質問ヲ致シマセヌ、次ノ問題ニ付テ申シマス、受給者ノ年齢ニ依ル中止ノ問題デアリマス、之ヲ緩和スル意圖ガナイト云フ御話デゴザイマシタガ、前同モ申シタノデアリマススケレドモ、不徹底デアッタカ存ジマセヌガ、只今大學或ハ專門學校ヲ卒業イタシマシテ、ソレカラ雇員デスカ何カニナッテ十七年シナケレバ恩給ガ付キマセヌカラ、是ハ殆ド文官ナドニ關係ガナカラウト思ヒマスガ、皆四十歲以上ニ達シテ、多ク是カラハサウナリマセウト思ヒマスガ、ソレカラ警察官等ニ致シマシテモ、警察官ニナリマスルノニハ……兵ガ現役志願ナドト云フ制度モアリマシタリナドシテ、若イ時ニナリマスルノトハ、ソコニ又開キガゴザイマスバカリデナク、巡查ヲ志願ラシ、職業トシテ之ニ當ッタノデアリマスカラ、何處マデモ其職ニ付テ居リタイト云フコトデアリ、又過失ガナケレバ罷メサセルコトモゴザイマセヌシ、身分保障令等モゴザイマスカラシテ、是ハ警察官ニモ係ハルコトガ甚ダ少ナイノデアッテ、ドウシテモ是ハ、此制限ト云フモノハ全部下級ノ軍人ニ該當スルモノナリト云ウテモ過言デハナカラウカト思フノデアリマス、無論若クシテ恩給ヲ貰フノガ不當デアルト云

フ聲ガ叫バレテ居リ、私モ尤モト思ヒマスガ、デアリマススケレドモ元々兵ニ這入リマシテ、下士ヲ志願スルト云フノハドウ云フコトデアルカト云ヘバ、是ハ恩給ヲ取ッテサウシテ貧弱ナル農村ニ歸リマシテモ、自分ノ勤勞ト恩給ト併セテ生活ノ安定ヲ計ラウト云フノガ目的デアルカラ、恩給ガ付ケバ早ク郷里ニ歸ッテ家業ニ從事スルト云フノガ當然デアリマス、デ又恩給ヲ貰フマデ勤メルト云ッテ郷里ニ歸リマシテモ、直チニ今度若干取上ゲラレルト云フ感じノスル此規則ノアリマスルコトハ、誠ニ是ハ私ハ忍ブベカラザルコトデアッテ、恐ラク陸軍ニ於キマシテモ、海軍ニ於キマシテモ、之ニハ斷ジテ心中御同意ニナッテ居ルモノト思ハレナイノデアリマス、是等ハ私ガ一例トシテ申上ゲマスル所ノ軍人ニ對スル特別ノ事情ニアル、ソレハ巡查モ職ヲ辭メル、兵モ下士モ職ヲ去ルト云フコトハ同様デアルケレドモ、最初ノ出發カラシテ、警察官ハ長ク其職ニ居ラウトシテ從事シタノデアッテ、片一方ハ恩給ガツク迄軍隊ニ居ラウトシテ、其恩給ガツイタ所デ退職スルノデアル、非常ニ其處ニ差ガアルノデアル、デアルカラシテドウシテモ私ハ軍人ノミトハ申シマセヌケレドモ、大部分ガ下級軍人ニ對スル

所ノ一ツノ極ク過酷ナル法案デアリヤウニ
考ヘルノデアリマス、ドウカ此點ニ付キマ
シテハ御再考ヲ御願ヒシタイノデアリマ
ス、陸海軍ニ於キマシテハ、果シテ是同
意ヲ與ヘナケレバナラヌ理由ガアルカ、出
來ルコトナラバ撤回ヲシテ欲シトカ、或
ハ緩和ヲシテ欲シト云フ希望ガ、今尙
ホ私ハ存スルニ相違ナイト思フノデア
リマス、苟モ陸海軍大臣ハ陸海軍ヲ統督
スル、其外ニ無論軍人ノ利益ヲ擁護シ、
サウシテ是ガ喜ンデ現職ニ於テモ、豫後備
ニナツテモ、國家ニ忠勤ヲ擢ンデルト云フコ
トヲシナケレバナラヌ、ソレニ付テハソレ
ダケノコトヲシテ下サラナケレバナラヌ、
殊ニ私ハ將校トカソレ以上ノ者デナク、下
士以下ニ關係ノ深イ本問題ヲムザムト、
此財政云々ニ依テ同意スルト云フコトハ甚
ダ遺憾デアリマスノデ、是ニ對シテ更ニ御
再考ヲ御願ヒシテ如何ナル御考ヘデアルカ
ヲ陸海軍ノ方ニ質問シタイノデアリマス

ス、併ナガラ此制度ハ本法施行後初メテ現
役ニ服スル者カラ適用サレル制度デアリマ
シテ、是ニハ私ハ法律ノコトハ分リマセヌ
ガ、假ニ法律ハ國民ト國家ノ間ノ契約ト云
フヤウナ契約説ト云フヤウナモノヲ、借り
テ申上ゲマスナラバソレヲ覺悟シテ志願ヲ
シテ來ルト云フコトニナリマスレバ、不平
モナクナリマセウシ、三十代デ僅カ八分ノ
一ヲ止メラレルト云フ場合ニ於テ下士官士
願者ハサウ減ルモノトハ私共考ヘテ居リマ
セヌ、旁、若クシテ恩給ヲ貰テ居ルト云
フコトモ、是ハ實際軍人ノ如ク、兎ニモ角
ニモ總テハ犠牲心ノ下ニ働クノダト云フ所
ノ精神的ニ社會生活ヲシテ居リマス者カラ
申シマスレバ、何三十代デ恩給ヲ貰ヘバ、
概シテ健康デ達者ダカラ働クカラ、死ンダ
ナラバ何トカシテヨクシテ呉レ、是ガ本當
ノ軍人ヂヤナイカト思ヒマス、從ヒマシテ
公務傷病ニ關シマスル恩給ヲ出來ルダケ
ヨクシ、一面ニ於キマシテハ若イ時代ノ恩
給ハ多少減ツテモ忍ブ、サウシテ自分達ハ衆
ノ模範トシテ郷黨ニアツテ働ク、斯ウ云フ思
想モ涌イテ來ルノモ亦宜イコトヂヤナイカ
ト考ヘルノデアリマス、尤モ少シ考ヘトシ
テハ如何ト思ヒマスケレドモ、先回ノ委員
會ニ於テ申上ゲマシタ通り、殆ド是ニハ文

官ガ引、カカリマセヌ、何トカ文官ニモ多少
忍ンデ貰ヒタイ、斯ウ私ハ實ハ甚ダ根性ノ
惡イヤウナ考ヘデアリマスケレドモ、考ヘ
ヌコトモゴザイマセヌ、併シ文官ニモ亦ソ
レゾレ文官ノ特異性モゴザイマシテ、御互
ニ四十ヲ越エマシテ、子供ハ段々大キクナ
ル、家庭經濟モ複雑コナルト云フ時ニ取ラ
レルト云フコトハ誠ニ氣ノ毒ト思ヒマス、
私共ハ文武官ノ特異性ナント云フコトニ付
テモ、就中其中ノ軍人ノ特異性ニ付テ造次
顛沛モ忘レタコトハナイノデアリマスケレ
ドモ、又之ヲ主張スルニ付キマシテハ、武
士道ノ精神カラ申シマシテ、警察官吏、警
察監獄職員、或ハ文官ノ各、ノ立場ヲ考ヘ
テコソ軍人精神ガ進ムモノト考ヘテ居リマ
スノデ、此規則ニ付キマシテハ最善トハ考
ヘテ居リマセヌケレドモ、是ガ新法施行後
ニ於テ初メテ兵役ニ服スル人ニ適用ガア
リ、ソレヲ見テ志願ヲシテ來ル、其志願者
ハ餘リ減ルマイ、若イ時ニハ在郷ニ居テ大
イニ働ク、死ンダ、戦死其他公務傷病デ死
ンダヤウナ者等ヲモットヨクシテヤツテ戴キ
タイ、其意味ニ考ヘマシタ時ニ、必シモ軍
ニ非常ニ惡イ影響ヲ與ヘルモノトハ考ヘマ
セヌ、是ガ此案ニ同意イタシマシタ理由デ
アリマス、是以上ハ最早意見ノ相違デアリ

マス、見方ノ相違デゴザイマス、是以上御
辯明ヲ申上ゲルベキ材料ハナイノデゴザイ
マス
○説明員(多田武雄君) 只今ノ御質疑ニ對
シマシテハ、前回モ同ジヤウナ御質問ガゴ
ザイマシタノデ御答ヘ致シテ置イタ次第デ
アリマスガ、淺田閣下ノ仰セラレマス如
ク、國家ガ其必要上若キ者ヲ召集イタシマ
シテ、サウシテ兵役ニ服セシムル、編制上
ノ必要カラ或年限經チマスト云フコト、已
ムヲ得ズ強制淘汰ヲシナケレバナラヌ、若
クシテ現役ヲ退カシメナケレバナラヌト云
フヤウナ事情ニナツテ居リマス、而モ軍隊ニ
居リマス期間、社會トハ極メテ交渉ノ遠
イ、所謂片輪ナ教育ヲ施シテ居ルト云フ事
情ニモアリマスノデ、此若クシテ強制淘汰
セラレマシタ恩給ノ一部分デモ之ヲ停止ス
ルト云フコトニ付キマシテハ、甚ダ忍ビ難
イ考ヘガスルノデゴザイマスガ、又一面我
我軍人ノ此恩給ヲ給セラレマスモノノ個人
ノ側カラ考ヘテ見マスト云フト、二十代三
十代ノ若イ年輩デ以テ國家カラ恩給ヲ支給
サレル、誠ニ有難イコトダト云フ感ジガス
ルノデゴザイマス、即チ國家ガ我々軍人ノ
特異性ヲ十分ニ認メテ呉レルノダト云フ感
謝ノ念ヲ抱ク次第デアリマシテ、サウ云フ

考へハ實際我々地方點呼ナリ、招呼ナリニ廻テ觀察シテ參リマス、實際ニサウ云フ考ヘテ抱イテ居ル者ガ澤山アルノデアリマス、決シテ其恩給ノ高ヲ申シテ居ルノデアリマセヌノデ、恩給ヲ頂戴シテ居ルト云フ其實事ニ對シテ非常ニ感謝ヲシテ居ル次第デアリマス、デアリマスルカラ今回所謂輿論ト申シマセウカ、二十代三十代以テ恩給ヲ支給セラレテ、サウシテ徒食シテ居ルノハ甚ダ怪シカラヌコトデハナイカト云フヤウナ考ヘ方モ、聲モ随分アリマスノデ、是ハ軍人ノ特異性トハ別箇ニ或ル年齢ニ達スル迄ハ恩給ノ一部分ヲ停止スルト云フ別箇ノ考ヘ方モアルト云フ風ニ解釋シテ差支ヘナイト思フノデアリマス、是ガ恩給ヲ全部停止スル、或ル年齢ニ達スル迄恩給ヲ支給シナイノダト云フコトニナリマスルト云フト、是ハ大問題デゴザイマシテ、軍人ノ特異性ヲ無視スルト云フコトヲ言ヒ得ルト思フノデゴザイマスガ、六分ノ一、八分ノ一ヲ停止スル程度デゴザイマシタナラバ、特異性ヲ無視シテ居ルト云フ風ニ考ヘナイデ宜イデヤナイカト思フノデアリマス

○男爵淺田良逸君 只今陸海軍兩當局ノ方カラ誠ニ涙グマシイ程ノ軍人精神ニ付テ、其發露ニ依テ恩給ノ一部ヲモ國家ニ捧ゲ

ルト云フ精神ハ、是ハ我々トシテ感激ニ堪ヘナイ所デアリマス、ト同時ニ又左様ナ立派ナ軍人ニ對シテ、國家トシテ、文官デナク此若クシテ罷メタ軍人ノミヨリ取り上ゲルト云フガ如キ、斯ノ如キ法ヲ制定スルコト自體ハ甚ダ良クナイコトデアルト云フコトハ少シモ變リガアリマセヌ、私ハ今ノ御話ヲ伺ヘバコソ尙更斯ノ如キ法ハ是ハ惡事デアッテ、斯ウ云フ風ニ考ヘルモノデアリマス、而モ段々御話ヲ承ッテ見ルト、係ハル所是ハ下級軍人ノミデアアル、サウ云フコトハ兩君ガ現ニ其職ニ居ラレ、其精神ハ斯ウデアアル、故ニ外モ皆斯ウダラウト云フコトデアリマシタナラバ、ソレハ大ナル、是ハ考ヘ方ノ違ヒト思ヒマスケレドモ、サウデナク皆サンガ左様ナル崇高ナル考ヲ御持チニナッテ居ルカラ、ドウゾ是ハ政府ニ於テハソコヲ汲ンデ一ツ、斯様ナルコトヲシナイト云フコトデナケレバナラス、ケレドモドコ迄モ政府ガ之ヲ改メナイト云フナラバ已ムヲ得マセヌノデ、是ハ最後迄反對デアアルコトヲ申上ゲテ次ノ質問ニ移リマス、恩給ノ融資ノ問題、是ハ既ニ御説明モアリマシタシ、概要分リマシタカラ止メニ致シマス、納金ノ制度、此事ニ付キマシテハ若干矛盾ガアルケレドモ、御前ノ言フコトハ小サイ

見方デアアル、大キイ所カラ見レバ、ソレハ差支ヘナイト云フ御意見モアリマス、ソレモ御尤デゴザイマスケレドモ、私ノ存ジテ居リマス所デハ陸海軍々人カラハ金ヲ取ラナイノデアアル、大正十二年ノ改正ニ於キマシテ、其取ラザル所以ヲ軍部ニ於テ明カニサレタト思フノデアリマス、然ル所今ニナッテ納金ヲスルト云フコトハ、恐ラク是ハ是認サレタモノデアリマセウ、如何ナル考ヘ方ノ相違デアアルカニ付テ前回ニ於テ私ハ質問ヲ致シテ居リマシタガ、陸海軍當局ノ御答ガアリマセヌノデ、茲デ御尋申上ゲマス

トニナリマシタノデ、當時私共ハ恩給納金ニ付キマシテハ根本ニ於テ考ヘサセラレル餘地ガアツタト云フ、以前考ヲ持ッテ居リマシタガ一面ニ於テ文官ハ百分ノ二軍人ハ百分ノ一ヲ設定スルコトハ否ムコトガ出来ナイ、否ムベク餘リニ勘定高過ギル、ケレドモ抑、文官ノ納金制度ヲ作ラレマシタ其時ニハ官吏ノ扶助料ヲ作ルト云フコトノ一ツノ財源ニ當テラレタカノヤウニモ考ヘラレルガ、此際ニハ若シモ納金ヲ文官ガ増額シ、軍人ハ百分ノ一ヲ新タニ納金スルコトニナルナラバ、願クハ公務扶助料デアルトカ或ハ傷病關係ノ恩給ヲ宜クシテ貰ヒタイ、是ガ昭和六年以來私等ノ主張イタシテ參リマシタ要旨デアリマス、今回ハ此要旨ノ下ニ改正ガ行ハレマシタ、兎ニ角ニモ私共ノ主張ヲ容レテ載クコトニナリマシタ、私ハ此納金ハ反對スル餘地ハナイト存ジマス

○説明員(多田武雄君) 海軍ト致シマシテモ、只今陸軍ノ恩賞課長カラ述ベラレマシタ所ト、全然同様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○男爵淺田良逸君 只今承リマスレバ交換條件トシテ、他ノ大切ナ方ニ金ヲ振り向ケラレタヤノ如キ感ジガ致シマスケレドモ出ス個人カラ考ヘタ時ニソレハ大變ナ考ヘ方

以外ハ新タニ百分ノ一ヲ新設スルト云フコ

ノ誤リデハナカラウカト思フノデアリマス、必要ナル方面ハ必要ナル方面カラ金ヲ出シテ、又他ノ理窟ノ方ハ、他ノ理窟ノ方トハ獨立シタモノデアリマシテ、只今恩賞課長ノ云ウタ如ク、傷病兵等ノ待遇ヲ非常ニ宜クスルト云フコトニ付テ苦心シタ、ソレガ解決セラレルト云フコトノ必要上カラ云ヘバ、是ハ私ハチヨット前同カラ此處デ能ク起テ居リマス、是ハ減俸デアル、體宜キ減俸ダ、斯ウ云フコトノ議論ヲ益、成立タセルモノノヤウニ考ヘマスノデ、是亦見解ヲ異ニ致シマスケレドモ、其問題ハ止メニ致シテ、次ノ御質問ニ對スル再質疑デゴザイマスガ、准士官退職ノ際ニハ事實問題トシテ特務曹長ニ影響ガゴザイマセヌデセウカ、更ニ承ル、先キノ恩給局長ノ御説明デハ少シク私ニ腑ニ落チマセヌデシタ、事實問題トシテ斯ノ如ク改メマスコトハ特務曹長階級ノ者ニ對シテ損失ガ及バナイノデア

ルカドウカ、恩給局長ハ、タツタ特務曹長一ツデ外ヲ云々ト云フコトデアリマシタガ、私ハ外ヲ宜クシタカラ特務曹長ガ惡クシテ貰フタト云フコトハ承服ガ出來マセヌノデ、特務曹長トシテ考ヘタ時ノコトヲチヨット陸軍當局ニ伺ヒタイ

○説明員(中井良太郎君) 此點ニ付キマシ

テハ准士官ノ在職年其他總テヲ統計的ニ觀察イタシマシテ、現在ハ殆ド變リガナイ、斯ウ云フ統計的觀察ノ下ニ此案ニ同意ヲ致シテ居ルノデアリマス

○男爵淺田良逸君 戰時ニ於ケル進級ハ停年年限等ノ說モアリマシタリ致シマスガ、サウ云フ場合等ニ於テモ影響ガアリマセヌカラモ一遍……

○説明員(中井良太郎君) 戰時ニ於キマシテハ凡ユル多大ノ從軍加俸ヲ入レラレテ、一箇月ニ付テ三箇月ノ加俸ガアリマシテ、一年戰爭ガアリマスレバ四年分貰ヘルト云フコトニナリマスノデ、戰時モサシテ不自山ガナイト考ヘマス

○男爵淺田良逸君 私人尋ネマシタノハ、別ノ方デ戰時加算ガアルカラ云々ト云フノデナク、進級ガ早イト云フノデ特務曹長ガ今度ノ改正ト如何ナル影響ガアルカラ聞イテ居ル、別ノ法規デ戰時加算ガアルカラ云云ト云フノデナク、此自體ニ關係シテドウデアアルカモウ一遍……

○説明員(中井良太郎君) 只今ノ御尋ネハ特務曹長ハ這入テ居ル、戰時ニナレバ進級ガ早クナル、付テハ在職二年デト云フコトハ出來ナイデヤナイカト云フ御尋ネデゴザイマシタカ

○男爵淺田良逸君 サウデス、サウデス

○説明員(中井良太郎君) 其點ハ特務曹長ニナル時期ニモ依リマセウ、又假ニ七年デ特務曹長ニナツタト假定イタシマス、併シソレニハ十三年ノ恩給ニ迄隨分年ガ遠イノデゴザイマス、是ハ進級ガ非常ニ早クナリマスレバ普通恩給年ニ掛ラヌ、然ルニ私ガ今申上ゲマスルガ如ク一年ニ付キ三年ノ加算ガアルト云フノデゴザイマスカラ、ソコニ特務曹長トシテ在職ガ長ク、サウシテ而モ普通恩給ノ恩典ニ浴スルト云フ機會ガアリマシテ、況ヤ負傷者トカ或ハ戰死シタト云フ時ニハ、年限ハ何等ノ差ガナイ、戰時ニハ何等ノ關係ガナイト大體御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○男爵淺田良逸君 次ノ問題ノ關東州駐屯ノ軍隊ノコトデアリマスガ、是ハ外國デア

ルカ外國デナイカニ出發點ヲ置イタヤウデゴザイマスガ、「外國ノ鎮戍ニ服シタル」ト云フコトノ讀方ヲ政府ガドウ見テ居ルカニ付テ伺ヒマス、外國鎮戍ト云フノハ、私共ハ任務ト解釋シテ居ル、駐屯地其モノガ假ニ外國ニ接シタル國境内ニ居テモ、直グ出テ行クト云フガ如キモノニ是ハ適用スルモノデアルト云フコトニ私ハ解シテノ質問デアッタノデアリ、尙ホ色ミト細カク御指シニ

ナツタ關東州ニハ關東州ノ法規ガアッテ、一ヶ月ニ付キ半年云々ト云フ御説明ハ、私モ能ク存ジテ居ル積リデアリマス、唯任務上外國鎮戍ニ服シタ、外國ニ於テ鎮戍ニ服シタノデハナイ、外國鎮戍ト云フ任務ヲ持テ第八師團ガ派遣セラレテ滿洲ニ行カレタ、サウスルトソレガ本來ノ任務デゴザイマスノデ、外國鎮戍ノ任務ヲ既ニモウ受ケテ向フニ行クト云フ風ニ解スルノガ至當デアルニ拘ハラズ、ソレガドウデアアルカ、斯ウ云フコトカラ起タ問題デアル、之ニ付テモウ一遍御説明ヲ煩ハシマス

○政府委員(堀貝詮三君) 是ハ内國ニ在リマシテハ外國鎮戍トハ申シマセヌノデ外國ニ居リマシテ鎮戍ニ服スルト云フ意味デ、是ハ二十三年ノ恩給法ノ制定以來、沿革的ニモ確定イタシテ居リマスシ、十二年ノ恩給法ノ制定ニ當リマシテモ、決シテ此主義ヲ變ヘタモノデアリマセヌ、從テ現行法ニ於キマシテモ、解釋ト致シマシテハ議論ガナイノデゴザイマス、サウ云フヤウナ事情デアリマスカラ、只今申シマシタヤウナ事情ガアリマスルノデ、同ジ朝鮮ニ居リマス師團ノ如キモノハ、朝鮮ニ駐屯イタシテ居リマスル間ハ、決シテ外國鎮戍ガ加算セラレナイノデアリマス、御説ノ通りニ朝

鮮ニ軍隊ガ居ルト云フコトハ、滿洲殊ニ間島地方ナドニ對スル日本ノ鎮戍ト申シマセウカ、平靜ヲ保ツ上ニ於テハ非常ニ存在其モノガ有力ニナッテ居リマスルケレドモ、併シ是ハ外國鎮戍ヲ無論加算シテ居リマセヌ、サウ云フヤウニ外國鎮戍ハ、初ニ認メラレマス時カラノ沿革ニ依リマシテモ、サウ云フ事情ニナッテ居リマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○男爵淺田眞逸君 朝鮮ノ御話ガアリマシタガ、朝鮮ニ行ク師團ハ滿洲駐劄ノ任務ヲ持ッテ居ラヌノデ、ソレハ脫線シタ御説明デゴザイマス、私ハ第二師團ガ今度勅ヲ奉ジテ滿洲ニ行キマス場合ニ、如何ナル任務ヲ持ッテ行クカ、是ハ第二師團ノ編成ノ中ニ色ミナ部隊ガアリマシテモ、等シク是ハ滿洲駐劄ノ爲ニ向フニ行クノデアリマスルノデ、其中ニ某砲兵隊ニハ、オ前ハ滿洲駐劄デナイト云フコトハナイ、居ル場所ガ關東州デ、偶、兵ノ配置上カラ置カレル場合ガアルノデアリマス、尙又海城或ハ遼陽ニ致シマシテモ、是ハ日本ノ行政區ノ管内デアリマス、ソレトズト關聯ラシテ來テ、今度ハ普蘭店ニ來ルト云フト、關東州ト云フ名前ニ變リ、ソコデ關東州ニ居ッテモ、ソレト引續キノスグ北ノ瓦房店ニ居ッテモ、任務ガ外國鎮戍ト同様デアアル、是ハモウ事實ガ證明シテ居

ルノデハナイカ、尙ホ朝鮮ヲ持出シテ御説明ニナルノハ大變ナ是ハ相違デアリマスノデ、私ノ御尋ネシタノハ其處デアリマセヌカラシテ、更ニ外國鎮戍ト云フコト、海城ニ駐屯スル、其一部分ガソレガ旅順ニ居ル、斯ウ云フモノトノ比較ニ付テ的確ナル御説明ヲ承リタイノデス、是ハ説明アリト言フケレドモ、劃然タル見解ガ付イテ居ルナラバ問題デナイ、態ニ恩給局カラ人ヲ派シテ、旅費ヲ使ッテ是等ノコトヲ御調査ニ關東州、滿洲ニ御出デニナル必要モナイ、是等ハ事實來テ居ルノデアアルカラ、何カソコニ問題ガアルニ相違ナイ、斯ウ云フ意味ニ於キマシテモウ少シ明確ナル御答辯ヲ願ヒタイ

○政府委員(總員詮三君) ソレニ對スル御答ハ、舊軍人恩給法ノ條文ヲ引キマスコトガ一番捷徑ト存ズルノデアリマスカラ、其軍人恩給法ノ第二十一條ノ第四號ニ依リマスト、斯ウ書イテゴザイマス、是ハ加算ヲスル規定デスガ、「日本國外ノ鎮戍ニ在リタルトキハ一箇年」ト云フコトニナリマシテ、國外ノ鎮戍ニ在ッテ、其所ノ場所ニ在ッタルキハ一箇年デアアル、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、其精神ハ今日ノ恩給法ニ於テモ少シモ變ッテ居ラヌノデアリマス、朝鮮ノ例

ヲ舉ゲマシタノハ、朝鮮ノ中ニ居ッテモ向フノ方ニ對シテ其威力ニ依リマシテ、向フノ靜謐ヲ害スルヤウナモノニ對シテ維持スルト云フコトハ出來マスケレドモガ、ソレニ付テハ加算ヲヤラナイ、外國ニ行ッテ……尤モ其外國ト云フノハ、二十三年ニ於ケル外國ト今日ノ外國、大陸ニ於テ國境ヲ接シマスル所ノ今日ノ外國ト云フモノノ觀念トハ大分違ヒ得ルト思ヒマスケレドモ、當時ニ於キマシテモ日本ノ國內デアル場合ニ於テハ諸般ノ事情ニ於テ便宜ガ與ヘラレ、外國ニ於テ……當時ノ外國トハ大體海ヲ渡ルコトデアリマシタケレドモ、外國ニ海ヲ渡ッテ行ッテ駐屯スルト云フコトニ付テハ色色ナ不便ガアリ、不安ガアル、ソレガ爲ニ特ニ加算ヲスルト云フ、斯ウ云フ趣旨デ出來テ居リマスノデ、二十三年ノ軍人恩給法ヲ見マスルト、此十五年加算ヲ致シマスノハ何レモ外ニ出テ行クコトヲ考ヘテ居リマスノデ、第一號ノ「外國戰ニ當リ出征軍ニ編入セラレ内國港灣ヲ出發シタルトキハ」ソレカラ第二號ニハ「内國戰ニ當リ出征軍ニ編入セラレ戰地ニ臨ミタルトキハ」トアリマシテ、兎ニ角向フニ行クト云フコト、大體向フニ行クト云フコトヲ一應考ヘテ、ソレニ功績ガアルトカ、或ハソレニ軍ニ從ッ

タトカ云フコトヲ總テ規定致シマシテ、第四號ニ於キマシテモ「日本國外ノ鎮戍ニ在リタルトキハ」ト云フヤウナ、「日本國外ノ鎮戍ヲ爲シタルトキハ」……、他ノ時ニハ「爲シタルトキハ」ト云フヤウナ文字ヲ使ハレルニ拘ラズ、斯ウ云フヤウナ特ニ「在リタルトキハ」ト云フヤウナ文字ヲ使ッテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、其趣旨ハ能ク分ル譯デアリマス、尙ホ確カ此施行法ノ規則ニ於キマシテハ、ドウ云フ時期カラ之ニ鎮戍ノ加算ヲスルカト云フ時期ニ付キマシテハ、出掛ケ時ハ云々、歸ッタ時ハ云々ト云フヤウナ細カイコトニナッテ居リマシテ、兎ニ角出掛ケテ向フヘ行クト云フコトヲ前提ニ致シテ居リマス、此外國鎮戍デゴザイマスカラ、ソコデ今ノ關東州ガ外國ナリト云フコトニナレバ、アスコニ在ル間ハ外國鎮戍ト云フコトニナリマスノデ、現在ノ外國鎮戍ヲ變ヘテ、外國ニ行カナイデ、外國デナクテモ、國內ニ居ッテモ場合ニ依レバ外國ニ在ル、日本國內ニ在ル鎮戍ト云フ風ニ方法ヲ變ヘルナラバ別デアリマスケレドモ、現在マデノ沿革ノ意味ニ於テハ、外國鎮戍ハ決シテサウ云フ譯デゴザイマセヌカラ、其點ヲ、私ノ朝鮮ノ例ヲ舉ゲマシタノハ不當デアレバ、其例ハ取消シマスケレ

ドモ、サウ云フ事情デアリマスカラ、其邊御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○男爵淺田良逸君

只今ノハ實ハマダアリ

マスケレドモ、アルト云フノハ戰ノ爲メニ内地港灣ヲ出發スル時デスガ、船ノ中デモアレバ、或ハ關東州デモアルコトハ、オ讀ミニナツタ法令ノ中ニアル、ソコデ見解ノ相違ガ其間ニアリマスケレドモ、ソレハ其儘ニ致シマシテ、屯田兵ノコトニ移リマス、屯田兵ノコトニ付キマシテハ、頻リニ政府委員モ陸軍モ御話ニナル根據ハ教育順次デ行ク、唯、教育順次デ行クト云フコトニナツテ居ル、其外ノ法令ヲ如何ニ見テ居ルカト云フコトニ付テハ一言申上ゲレバ、私ハ前回ニ於テ給與令デアルトカ、其他其當時ニ於ケル規則、又公ケニセラレタル所ノ當時ノ指揮官ノ會合等ニ於テ論議セラレタコトヲ述ベタノデ、唯教育順次令ノ一ツヲ以テ根據トスルト云フコトダガ、外ニソレト馳背スルコトガ起ツタ時ニ如何ニ説明ヲ爲サルカ、此點ガ落チテ居リマスニ依ッテ、私ハ第一回ノ時ニ質問ヲ申上ゲテマダ回答ヲ得テ居リマセヌ、陸軍省ニ於テハ其當時ト考ガ變ラヌ、變ラヌト言フガ證據物件ガ既ニ現ハレテ其證據物件ガ偽物デアルト仰シヤルカ、又御前ノ述ベタ

給與令ト云フモノハアレハ誤リデアルト仰シヤルカ、唯一ツノ順次令ニ付テ私

ハ申シテ居リマセヌノデ、其他ノ外ノ證據ヲ述ベタコトニ付テ、何等マダ御回答ニ接シテ居リマセヌ、更ニ之ニ加ヘマスノニ明治二十八年九月四日、陸軍省高級副官ヨリ出シマシタル所ノ公文モゴザイマス、屯、甲第六十一號ト云フモノデアルカラ御調べヲ願ヒタイノデアリマス、是ハ公文デアアルカラ私ハ公ニ扱ツタモノト解シテ居ルノデアリマスガ、ソレハ豫備役ノ兵卒ニ懲罰令ヲ施行スルノ件ト云フコトニナツテ居リマス、其文句ノ中ニ「屯田兵豫備役ハ普通豫備役トハ異リ、平素編隊シアルモノニシテ其服務ノ點ニ於テハ現役屯田兵ト大差ナキヲ以テ現役同様」云々ト云フ文句ガ出テ居ルノデアリマス、是ハ陸軍省デ出シテ居ル公文デアルト思ヒマス、其他ノ資料モアリマスルガ、曩ニ政府委員ガ大山陸軍大臣ノ御述べニナツタコトヲ引證イタシマシタノデ、政府委員ハ之ヲ防禦ノ具ニ供シタヤウデアリマスガ、私ハ良イ材料ヲ戴イタト考ヘテ居ル位デアリマス、何故ナラバ豫備ニ這入ルト云フト現役ノヤウナ譯ニハ行カナイノデ、ドウモ豫備ヲ置イタノハ惡イノダ、ソコデ今度ハ豫備ト云フモノヲ廢メ

テ、現役ト後備ダケニシテシマツタト云フコトノ間ニハドウシテモ名前コソ違フケレドモ、事實ガ同ジデアアル、然ル所名前ヲ異ニシタガ故ニドウモ勤務振りモ懶ケテイケナイノダト云フコトニナルノデアリマス、ソレハ軍隊ノ實情ヲ御承知ニナラヌ人ハ少シク解シ兼ネル、何故ナラバ現在ハ豫後備ノ軍紀ハ峻嚴デアリマスシ、取締リモ嚴デアリマスカラ、左様ナコトハアリマセヌカ、其當時ニ於キマシテハ兵役ノ中ニ召集サレタル豫後備サヘモ到底現役ノ如ク軍紀ガ嚴格ニ行カナイ場合ガアル、況ヤ其當時ニ於テハ片方ハ豫後備デアリ、片方ハ現役デアルト云フノダカラシテ自然名前ガ變テ居ルガ故ニ氣分モ變テ行ク、自然其態度モ亂レテ行クト云フコトハ有リ勝チデアアル、ソレハ現役ト豫後備ト同ジニシタイケレドモ名前ガ違フタ爲ニ斯ノ如クニナツタ、ソコデ名前ヲ削ッテ即チ現役三年豫備四年トシテアツタモノヲ、一緒ニシテシマツテ、之ヲ七年乃至八年ト云フコトニシテ、サウシテ後備ト云フモノヲ無クシテシマツタト云フコトニナルノデアリマシテ、只今ノ御例證ハ全ク反對デ、是ハ寧ろ豫備ハ現役ト同ジデアルト云フコトヲ裏書スルモノデアルト云フコトニ解シテ差支ナイト思フノ

デアリマス、故ニ私ハドウシテモ法令ト事實ト云フコトヲ兩方對照イタシマシテ、果シテ全然現役ト同ジデナイトスルナラバ、是ハ私モ拒ムコトハ出來マセヌ、全ク何モ彼モ同様デアアルカト言ヘバ現ニ教育順次令ナドモ違テ居リマスカラ、其差異ノ存スルコトハ認メテ居リマスガ、政府ノ仰シヤイマス如クニ、全然別ノモノダカラ急轉直下片方ハ三年以下ニシタ、片方ハ三年モ四年モアルケレドモ、結局一緒ニシタト云フコトハドウモ承服スルコトガ出來マセヌノデ、私ノ調ベタ所デハ少シ嚴ニ失スルカモ知レマセヌガ、前第一回、第二回ニ述ベタ如ク、現役ニ近イモノデアルト云フコトニ判斷イタシテ居リマスニ付テハ、私ノ申上ゲテ居リマス資料ニ付テ、先ヅ陸軍當局其外カラソレハ違テ居ルトカ何トカ云フ明確ナル御答辯ヲ御願ヒシタイノデアリマス

○政府委員(榎貝詮三君) 屯田兵ノ豫備役ノ性質デゴザイマスガ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、此豫備役ノ期間ニ付キマシテハ、豫備役何年ト云フ間ニ於キマシテ、其一年ニ於ケル勤務日數ハ、二十日内外ト云フコトニナツテ居リマス、之ヲ御指定ニナリマシテ、或ハ御指定ニナラヌニシテモ、ソレニ

依ッタダケデハイケナイ、寧ろ通牒トカ、當時ニ於ケル軍隊ノ決議トカ、軍隊ニ於ケル兵隊ト申シマセカ、士官ト申シマセウカ、ソレ等ノ或ル人々ノ、會議ト云フモノニ特ニ重キヲオ置キニナルヤウデアリマスケレドモ、國家ノ立場トシテ考ヘテ見マスルナラバ、ドウシテモ、此制度デ斯ウセイ、是ダケ教育セイ、是ダケノ人ヲ、軍人ヲ、屯田兵ヲ訓練セイト云フ、又ソレ以上ヤラナクテモ宜シイト云フコトニナッテ居リマサルナラバ、サウ云フ制度ヲ取ッテ、恩給ナドニ付テモ考ヘナケレバナラヌカト思ヒマスノデ、教育順次令ナドモ、一番其當時ノ事情ヲ考ヘルニ應ハシイモノデアリ、又斯ウ云フコトニ信賴シテ、其制度ヲ極メテ行カナケレバナライモノデナイカト、實ハ考ヘテ居リマス、屯田兵ニ於キマシテハ、屯田兵ノ爲ニ恩給ノコトガ極メラレマシタノガ明治十八年デゴザイマス、當時ニ於キマシテ、屯田兵ニハ現役豫備役ノ區別ハゴザイマセヌ、ソレニ對シマシテハ全部其期間ハ原則トシテハ通算、恩給年限ニハ通算サレナカタ、併乍ラ屯田兵下士ノ中デ北海道ニ移住スル際ニ定規ノ給與ヲ受ケナイモノハ、スベテ現役軍人ト同様ニ通算イタシマシタ、色ミナル給與ガ矢張り定規ノ給

與ヲ爲サレマシテ、移住ニ際シマシテハ、仕度料ヲ給シ、旅費ヲ給シ、而シテソレガ自分許リデハナイノデアリマシテ、ソレニ伴ッテ行ク家族ノ者ニ向ッテモ、總テ之ヲ給シ、又入隊イタシマス時ハ家宅ヲ給シ即チ今日ノ官舎デアリマス、家具ヲ給シ、夜具ヲ給シ、種粃農具ヲ給シ、其後滿三ヶ年被服食料ト云フモノ總テヲ給與シ、ソレカラ更ニ病氣ニナリマシタ時ハ之ニ醫療ヲ給シ、尙ホ開墾ニ從事イタシマス、土地ヲ給スル、約一萬坪デアリマスナラバ一萬坪ヲ給スルト云フコトニナリマス、其土地ニ付テハ、長イ間ノ免租期間ヲ認メテ居ル、諸般ノコトデ、當時ノ生活ノ十分出來ルヤウニ總テノ給與ヲ致シテ居リマシテ、今日カラ見レバ、金額ハ勿論少ウゴザイマスガ、是デ十分ナリト云フコトニ考ヘテ居リマシタ、全ク普通兵隊ト在職年數ナドト、異ニシテ居リマス、普通ノ兵隊、下士以下ニ付キマシテハ、ソレヲ人ミニ付キマシテハ、サウ其給與ヲタブリヤルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌノデ、殊ニ兵ニ至リマシテハ、給料ナドハ勿論ヤラナイ、全ク義務的ニ引張り出スト云フヤウナコトデヤリマシテ、長ク居レバ是ニ恩給ヲヤル、同じ屯田兵ニ付キマシテモ、給與ヲ受ケナイモノ

ハ、軍人恩給令ニヨリマシテ、此年數ヲ通算イタシマシテ、現役通リニ取扱ッテ居ル、斯ウ云フ状態デアリマス、併ナガラ特ニ此屯田兵ガ、公務ノ爲ニ斃レルト云ヤウナ場合ニ於キマシテハ、一般ノ恩給令ニ依ルモノト同様ニ、是ニ對シテハ、恩給ヲ與フルト云フコトニナッテ參リマシタ、ソレガ後ニ屯田兵ガ、監視ニ服スルヤウナ場合ニ付キマシテモ、其期間ハ通算シテヤレト云フヤウナコトニナリ、具體的ニナッテ居ル間ハ是ハ通算シテヤレト云フノデ、現役ノ兵ト同じヤウナ事情ノ下ニアル者ハ、何レモ之ヲ通算シテ參リマシタヤウナ次第デアリマス、ソレ等ハ色ミ陳情モサレル所アリ、一ツ達スレバ又一ツト云フ風ニシテ參リマシテ、大正十二年ニ恩給法第百三條ト云フモノヲ置キマシテ、現役期間ヲ全部通算シテ、過去ノモノデハアルガ、將來ニ向ッテ恩給ヲヤルト云フコトニシテ、是デ全部ノ問題ヲ解決スル最後のノモノトナリト云フ意味ニ於キマシテ、百三條ヲ認メテ來タノデアリマス、更ニ又豫備役ヲ通算シテ、豫備役通算ト云フコトガ怪シクナッテ參リマス、今度ハ親子ノ在職年、服役年ヲ通算シテ呉レ、偶、兵役相續ト云フ文字ガ其當時ノ言葉ニ使ハレテ居ッタ爲ニ、兵役相續デアルカラ親子ノ

服役年限ヲ通算シテ呉レ、ソレニ對シテ恩給ヲ呉レ、又一時恩給ヲ大正十二年ニ遡及シテ給與シテ貰ヒタイト云フ請願モアリ、一ツ達スレバ一ツ、又一ツト云フヤウナ譯デ、順次之ニ對シテハ殆ンド果シモノク請願ガ今迄出テ參リマシタヤウナ事情デアリマス、デ當時ノ諸般ノ法令其他ノ事情ヲ顧ミマシテ、豫備役ヲ今日ノ兵又一般ノ志願兵ノ豫備役以上ニ之ヲ特ニ優遇シテヤラネバナラスト云フコトハ、此制度ノ上ニ於キマシテハ私全然ナイト思ッテ居リマス、唯是ハ會テ中井恩賞課長ガサウ云フ趣旨デアルト云フコトヲ中上ダケコトガアリマスガ、此法令ノ制度ノ上ニ現ハレテ居ル以上ハ、同じ村ニ住ンデ朝夕顔ヲ合セ、サウシテ時々ハ勤務スルト云フヤウナ關係ニアルノデスカラ、法令ノ認ムル以上ニ或ハ當事者ガ進ンデ餘分ナ勤務ヲヤッテ居ッタノカモ知レナイト思ッテ居リマス、茲ニ軍人ノ屯田兵ノ美ハシイ所ガアル、又國家カラ見レバ實ニ感謝スル所ガアルト思ヒマスルガ、此制度以外ニハ恐ラクハヤッテ居クンデハナイカト云フコトガ、根據ハアリマセヌケレドモ想像セラルルノデアリマス、ソレニ對シテ一種ノ涙ヲ國家ガ滯スト云フノガ適當デハナイカト云フコトガ考ヘラレマスノ

デ、兵役審議會ガ一時金ヲ以テ之ヲ解決スルノハ相當ト認ムト云フ答申ヲ致シマシタニ對シテモ、政府ガサウ云フコトヲ考ヘルノハ又別問題デアルト云フコトヲ申シテ居ルヤウナ次第デアリマス、是ハ恩給ノ方ニ於キマシテ在職年限ニ依テ通算スルト云フコトハ、是ハ誠ニ外トノ鈞合等ヲ考ヘマシテ不相當ナコトデアルト考ヘテ居ル次第デアリマス

○政府委員(中井良太郎君) 只今極員恩給

局長ノ御答辯ニ依リマシテ、私ノ申サントスル所ノ大部分ハ盡キテ居リマスガ、私ハ只今極員恩給局長ノ言ハレタ理由ノ下ニ、私共トシマシテハ恩給法中ニ屯田兵ノ豫備役期間通算ノ請願ヲ加ヘヤウトハ考ヘテ居リマセヌ、何處迄モ兵役義務者及廢兵待遇審議會ノ答申ヲ指針トシテ今後此問題ヲ解決シタイトハ考ヘテ居リマス、從ヒマシテ先日來御開示ヲ頂キマシタ各般ノ通牒トカ、内務規定トカ、只今ノ懲罰規定ノ適用トカ云フコト、或ハ給與令ノコトニ付キマシテハ古イモノヲ漁リマシテ、モウ一度直接他人ノ作りマシタ材料ヲ當デニシマセヌデ、原本ヲ取調ベツツアルノデアリマス、併シ是ハ到底兩三日ニハ調ベハ終ラナイト存ジマス、只今頭ニ直感的ニ考ヘテ居リマ

スノハ、此内務ノ規定トカ、或ハ只今御示シニナリマシタ懲罰規定トカ云フモノハ、詰リ屯田兵村ノ取締ノ爲メノ規定デアッタノデハナカラウカ、是方直ニ服役ヲ義務附ケタトモ考ヘラレマセヌ、詰リ恩給年ニ通算スベキ性質ノ義務ヲ此二ツノ規定ニ依テ義務附ケタトモ考ヘラレヌヤウニ思フノデゴザイマス、詰リ取締規定デアリマスカラ、例ヘバ今日私共ハ世田ヶ谷ナラ世田ヶ谷ニ住ンデ居リマスガ、其處ニハソレ警察法規ニ依テ取締ガ行ハレテ居ルト云フヤウナ譯デ、當時屯田兵モ一ツノ兵村ヲ成シテ居ル、ソレガ總テ軍隊デアリマシタヤウニ觀察セラレテ居リマスカラ、兵村ノ取締デアリ、詰リ一種ノ警察的機能デアッタノデハナイカト私ハチヨット思ハレル、併シ是ハマダ研究シマセヌカラ完全ニ御答ヘハ出來マセヌ、孰レニ致シマシテモ恩給年限ノ通算ト云フコトハ今迄ハドウシテモ考ヘラレマセヌ、從テ研究ハ何處迄モ致シマスガ、マダ明確ナニニ關スル御答ハ致シ兼ネマス、兵役義務者及廢兵待遇審議會ヲ尊重イタス積リデアルト云フコトハ、少シク「ピンント」ヲ外レテ居ルヤウデアリマスケレドモ、御答ヘ致シマス

○男爵淺田眞逸君 審議會ノ答申ニ付テハ

私モ拜承イタシテ居リマス、審議會ガ權威アルモノデアルト云フコトハ十分ニ考ヘマスケレドモ、審議會ト雖モ資料ヲ自ラ蒐メタモノニアラズシテ、此資料ハ察スルニ政府當局、就中陸軍省等カラ御出シニナッタモノデアルニ相違ナイ、其資料ヲ根據トシテノ答申デアルト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、然ラバ資料ニ於テ充實シタカ否ヤト云フコトガ今論據ニナッテ居ルノデアル、私ハ其資料ニ付テ未ダ陸軍省ノ有テ居ナイ資料ヲ提供シテ再考ヲ求ムルノデアリマスカラ、ドウカ固執ヲスルコトナク、順次令ト云フモノヲ外ニ給與令、或ハ内務書、師團長等ノ會議錄、或ハ當時ニ於ケル諸般ノ調べ物モアルト云フコトニ想ヒテ致シテ、サウシテ更ニ之ヲ研究スルコトノ必要ヲ主張セザルヲ得ナイノデアリマス、是レ以上ノ事ハ細カクナルノデアリマスケレドモ、現ニ極員恩給局長ノ言ヲコトト明カニ私ハ反證ヲ擧ゲ得ル事實ヲ有ッテ居ルノデアリマス、其三週間ト云フ法令ガアリマシテモ、事實三週間以上召集ヲ受ケタコトハ、其當時ニ於ケル公文ニ依テ明力ナモノヲ以ッテ居リマス、又當時一日ニ六時間以上デナケレバ金ヲ給シナイカラ、金ヲ給シナイモノナラバ何時出テ來イト云ヘバ出テ

行クノデアルシ構ハナイ、唯金ガ當時ナカタカラ豫備ト云フモノニオ前ガ這入レ、六時間以上デナケレバ金ハヤレス、順次令ニハ三週間トアルケレドモ、其實ハ演習ハ澤山其外ニ三時間トカ四時間トカヤルンダ、ソレカラ又勤務モ當リ前ニヤルンダ、斯ウ云フ事ガ多分ニ含マレテ居ル事實ヲ沒却シテハシマハレナイ様ニ、私ハ御願ヒシタイノデアリマス、ソレデ私ノ前ニ繼續致シテ居リマシタ問題ハ是デ終リマシタガ、外ニゴザイマスケレドモ、外ノ人ノ妨ゲニナリマセウカラ、一先ヅ私ノ質問ヲ打切りマシリマス、明日ハ午前十時カラ委員會ヲ開キマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 今日ハ是デ終

午後三時三十八分散會

出席者左ノ如シ

- | | |
|------|----------|
| 委員長 | 伯爵溝口 直亮君 |
| 副委員長 | 男爵井上 清純君 |
| 委員 | |

- | |
|----------|
| 公爵一條 實孝君 |
| 子爵大河内輝耕君 |
| 子爵伊東二郎丸君 |
| 佐藤 三吉君 |
| 眞野 文二君 |
| 織田 萬君 |

塚本 清治君

男爵淺田 良逸君

男爵渡邊 修二君

今井 五介君

政府委員

内閣恩給局長 樋貝 詮三君

説明員

陸軍歩兵大佐 中井良太郎君

海軍中佐 多田 武雄君